

徳島県建設産業ビジョン

本県建設産業の実態調査（アンケート調査結果）

令和8年3月

徳島県

本県建設産業の実態調査（アンケート調査結果）

【実態調査の目的等】

徳島県建設産業ビジョンの策定及び今後の本県の支援施策の検討にあたっての参考とし、担い手の確保・育成や生産性向上、経営環境などに関し、県内建設業者の現状を的確に把握するため、調査を実施しました。

- 調査対象：県内の建設業者(入札参加資格業者)：1,226 者
- 調査方法：WEBアンケート形式による無記名調査
- 調査時期：令和7年7月14日～8月4日
- 回答状況：回答数 304 者<回収率 24.8%>

【本県建設産業の実態調査の記載方法について】

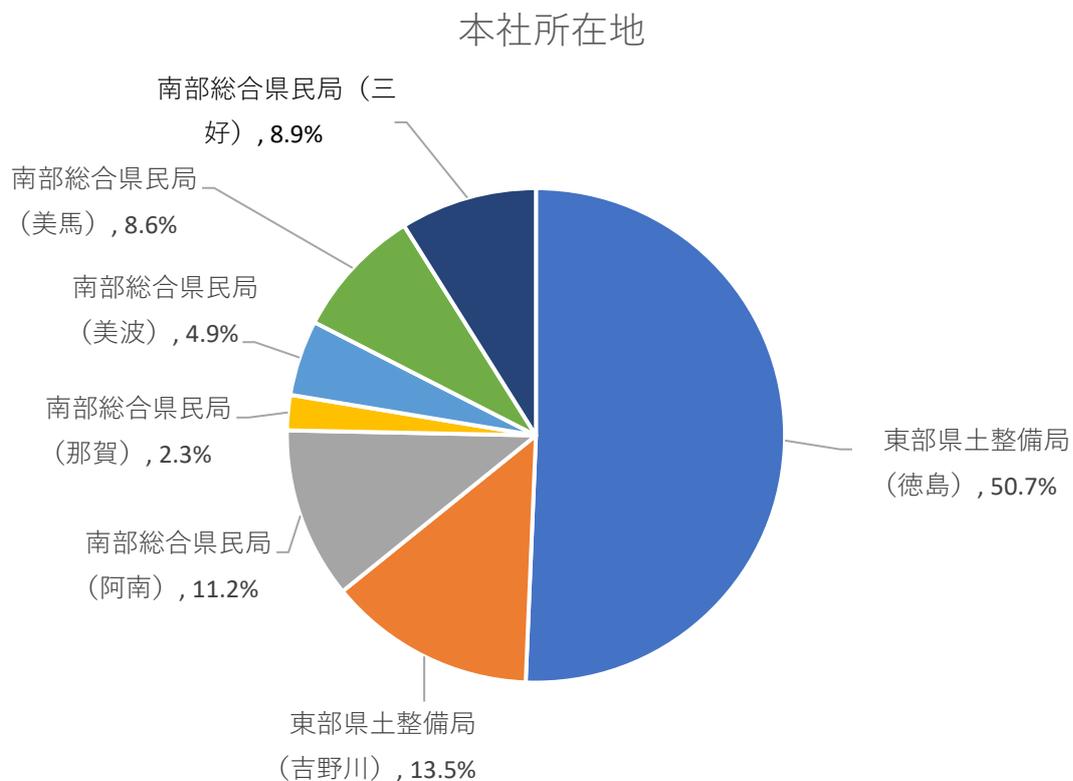
- ・集計結果の数値は、小数点以下第2位で四捨五入しているため各回答の合計が100%に一致しない場合がある。
 - ・複数回答の設問については、回答比率の合計は100%を超える。
 - ・自由記述（その他）については、1回答に複数の意見が含まれる場合があるため、意見単位で集計を行った。
- そのため、回答者数とは一致しない場合がある。

Q1 本社所在地をお教えてください。

本社所在地

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	304	1	99.7%

所管	業者数	%
東部県土整備局（徳島）	154	50.7%
東部県土整備局（吉野川）	41	13.5%
南部総合県民局（阿南）	34	11.2%
南部総合県民局（那賀）	7	2.3%
南部総合県民局（美波）	15	4.9%
南部総合県民局（美馬）	26	8.6%
南部総合県民局（三好）	27	8.9%



地域名			
		市町村名	%
東部県土整備局（徳島）管内		154	50.7%
	徳島市	95	31.3%
	鳴門市	18	5.9%
	小松島市	9	3.0%
	勝浦町	6	2.0%
	上勝町	-	0%
	佐那河内村	1	0.3%
	神山町	3	1.0%
	松茂町	2	0.7%
	北島町	9	3.0%
	藍住町	9	3.0%
	板野町	2	0.7%
東部県土整備局（吉野川）管内		41	13.5%
	吉野川市	17	5.6%
	阿波市	9	3.0%
	石井町	9	3.0%
	上板町	6	2.0%
南部総合県民局（阿南）		34	11.2%
	阿南市	34	11.2%
南部総合県民局（那賀）		7	2.3%
	那賀町	7	2.3%
南部総合県民局（美波）		15	4.9%
	牟岐町	1	0.3%
	美波町	8	2.6%
	海陽町	6	2.0%
南部総合県民局（美馬）		26	8.6%
	美馬市	19	6.3%
	つるぎ町	7	2.3%
南部総合県民局（三好）		27	8.9%
	三好市	13	4.3%
	東みよし町	14	4.6%

Q2-1-1 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位1位】のものをお教えてください。

直近決算における完成工事高の割合が【上位1位】の業種

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	305	0	100.0%

業種名	回答数	割合
土木一式工事	136	44.6%
建築一式工事	49	16.1%
大工工事	-	0%
左官工事	-	0%
とび・土工工事	4	1.3%
石工事	-	0%
屋根工事	1	0.3%
電気工事	28	9.2%
管工事	26	8.5%
タイル工事	-	0%
鋼構造物工事	8	2.6%
鉄筋工事	-	0%
舗装工事	8	2.6%
しゅんせつ工事	1	0.3%
板金工事	-	0%
ガラス工事	-	0%
塗装工事	10	3.3%
防水工事	5	1.6%
内装仕上工事	2	0.7%
機械器具設置工事	6	2.0%
熱絶縁工事	-	0%
電気通信工事	5	1.6%
造園工事	4	1.3%
さく井工事	-	0%
建具工事	1	0.3%
水道施設工事	4	1.3%
消防施設工事	-	0%
清掃施設工事	-	0%
解体工事	5	1.6%
建設業の売上がない	2	0.7%
合計	305	100.0%

Q2-1 -2 上記Q2-1 -1 で選択した、上位1位の業種の完成工事高に占めるおおよその割合をお教えください。

上位1位の割合

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	305	0	100.0%

区分	回答数	割合
100%	66	21.6%
80%～100%未満	127	41.6%
60～80%未満	75	24.6%
40～60%未満	30	9.8%
20～40%未満	4	1.3%
20%未満	3	1.0%

Q2-2-1 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位2位】のものをお教えてください。

直近決算における完成工事高の割合が【上位2位】の業種

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	276	29	90.5%

業種名	回答数	割合
土木一式工事	69	25.0%
建築一式工事	39	14.1%
大工工事	3	1.1%
左官工事	-	0%
とび・土工工事	39	14.1%
石工事	-	0%
屋根工事	1	0.4%
電気工事	11	4.0%
管工事	13	4.7%
タイル工事	-	0%
鋼構造物工事	1	0.4%
鉄筋工事	-	0%
舗装工事	8	2.9%
しゅんせつ工事	9	3.3%
板金工事	1	0.4%
ガラス工事	-	0%
塗装工事	4	1.4%
防水工事	4	1.4%
内装仕上工事	-	0%
機械器具設置工事	4	1.4%
熱絶縁工事	1	0.4%
電気通信工事	8	2.9%
造園工事	3	1.1%
さく井工事	-	0%
建具工事	-	0%
水道施設工事	18	6.5%
消防施設工事	-	0%
清掃施設工事	-	0%
解体工事	16	5.8%
建設業の売上がない	19	6.9%
合計	276	100.0%

Q2-2-2 上記Q2-2 -1 で選択した、上位2位の業種の完成工事高に占めるおおよその割合をお教えください。

上位2位の割合

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	276	29	90.5%

区分	回答数	割合
100%	7	2.5%
80%～100%未満	5	1.8%
60～80%未満	2	0.7%
40～60%未満	19	6.9%
20～40%未満	114	41.3%
20%未満	129	46.7%

Q2-3 -1 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位3位】のものをお教えてください。

直近決算における完成工事高の割合が【上位3位】の業種

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	214	91	70.2%

業種名	回答数	割合
土木一式工事	20	9.3%
建築一式工事	13	6.1%
大工工事	7	3.3%
左官工事	3	1.4%
とび・土工工事	13	6.1%
石工事	-	0%
屋根工事	1	0.5%
電気工事	3	1.4%
管工事	12	5.6%
タイル工事	-	0%
鋼構造物工事	4	1.9%
鉄筋工事	1	0.5%
舗装工事	12	5.6%
しゅんせつ工事	4	1.9%
板金工事	-	0%
ガラス工事	-	0%
塗装工事	2	0.9%
防水工事	1	0.5%
内装仕上工事	1	0.5%
機械器具設置工事	6	2.8%
熱絶縁工事	-	0%
電気通信工事	-	0%
造園工事	1	0.5%
さく井工事	-	0%
建具工事	-	0%
水道施設工事	9	4.2%
消防施設工事	-	0%
清掃施設工事	-	0%
解体工事	23	10.7%
建設業の売上がない	73	34.1%
合計	214	100.0%

Q2-3 -2 上記Q2-3 -1 で選択した、上位3位の業種の完成工事高に占めるおおよその割合をお教えください。

上位3位の割合

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	206	99	67.5%

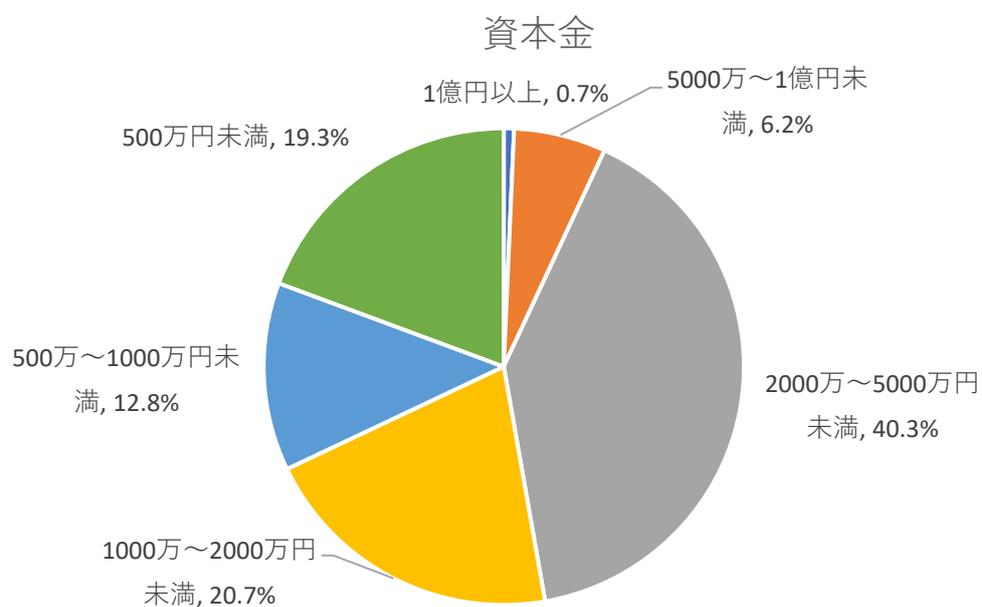
区分	回答数	割合
100%	6	2.9%
80%～100%未満	5	2.4%
60～80%未満	0	0%
40～60%未満	1	0.5%
20～40%未満	24	11.7%
20%未満	170	82.5%

Q3 貴社の資本金額をお教えてください。【単位：千円】

資本金

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	290	15	95.1%

区分	回答数	割合
1億円以上	2	0.7%
5000万～1億円未満	18	6.2%
2000万～5000万円未満	117	40.3%
1000万～2000万円未満	60	20.7%
500万～1000万円未満	37	12.8%
500万円未満	56	19.3%



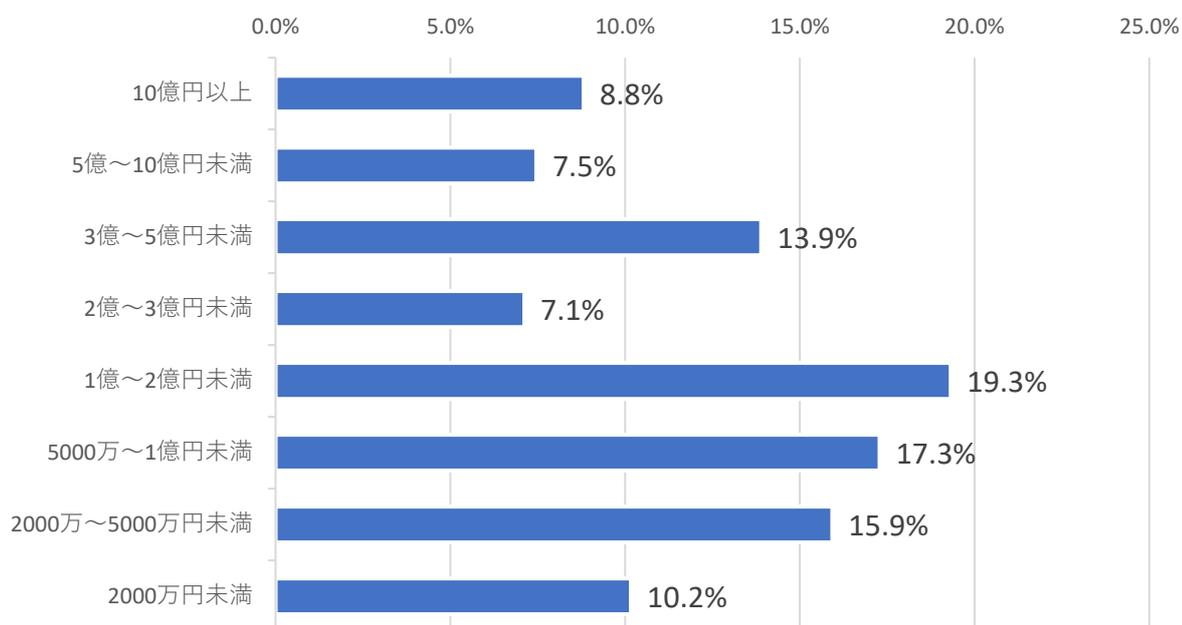
Q4 貴社の直前決算期の完成工事高をお教えてください。【単位：千円】

完成工事高

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	295	10	96.7%

区分	回答数	割合
10億円以上	26	8.8%
5億～10億円未満	22	7.5%
3億～5億円未満	41	13.9%
2億～3億円未満	21	7.1%
1億～2億円未満	57	19.3%
5000万～1億円未満	51	17.3%
2000万～5000万円未満	47	15.9%
2000万円未満	30	10.2%

完成工事高



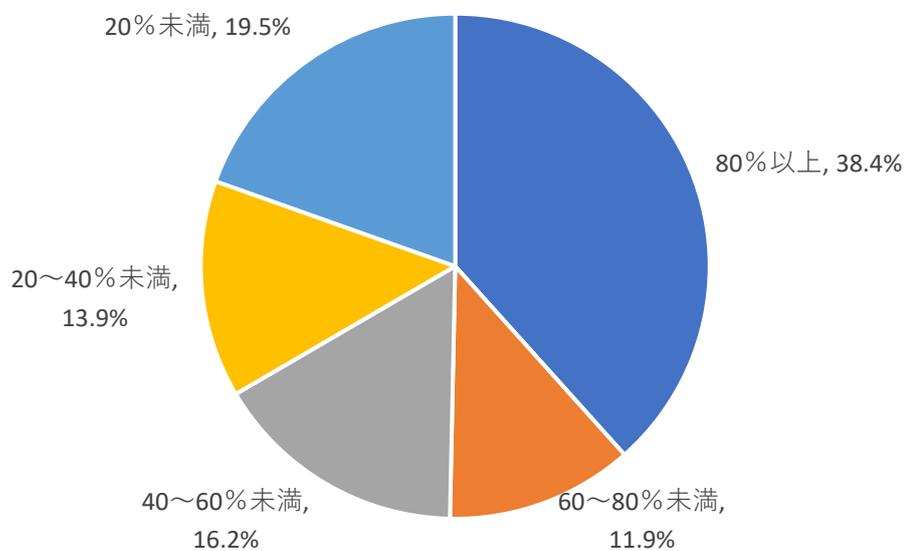
Q5 貴社の完成工事高に占める、おおよその公共工事の割合をお教えてください。

完成工事高に占める公共工事の割合

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	302	3	99.0%

区分	回答数	割合
80%以上	116	38.4%
60～80%未満	36	11.9%
40～60%未満	49	16.2%
20～40%未満	42	13.9%
20%未満	59	19.5%

完成工事高に占める公共工事の割合



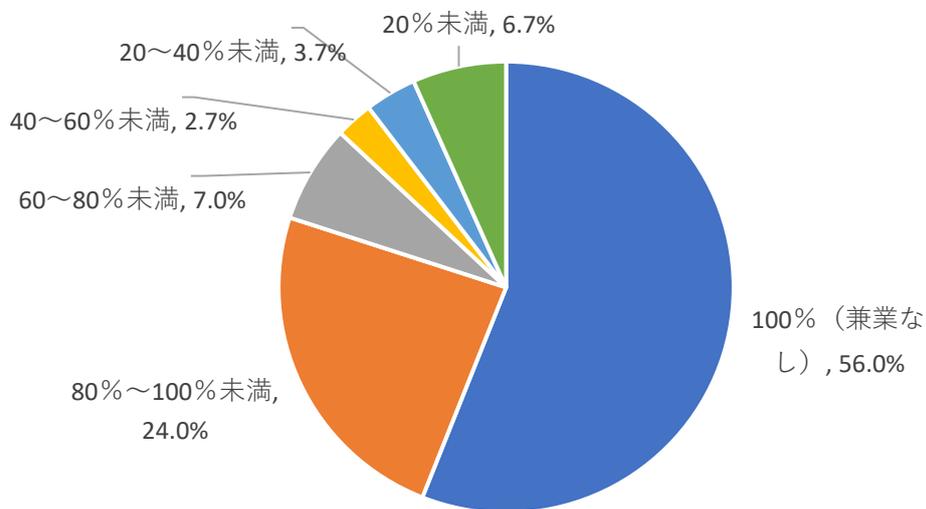
Q6 貴社全体の売り上げ（兼業売上高含む）に占める完成工事高の割合をお教えてください。

会社全体の売上に占める完成工事高の割合

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	300	5	98.4%

区分	回答数	割合
100%（兼業なし）	168	56.0%
80%～100%未満	72	24.0%
60～80%未満	21	7.0%
40～60%未満	8	2.7%
20～40%未満	11	3.7%
20%未満	20	6.7%

会社全体の売上に占める完成工事高の割合



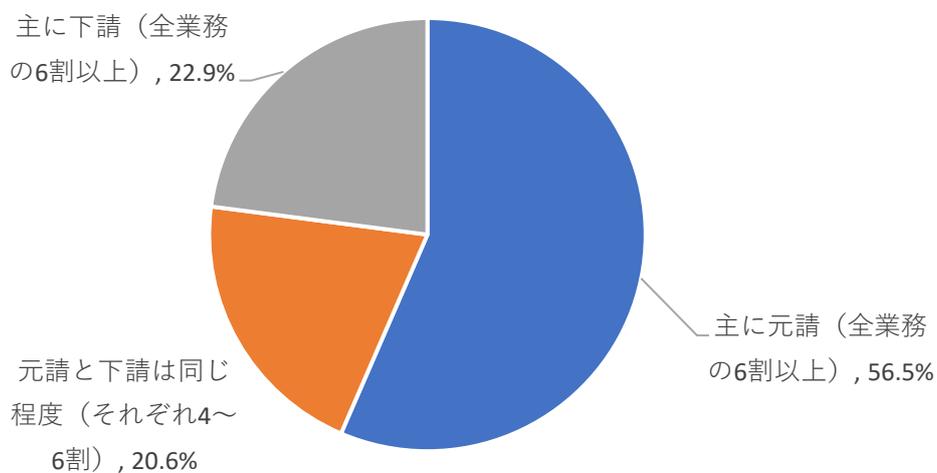
Q7 貴社の請負工事について主な受注形式をお教えてください。

請負工事の受注方式

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	301	4	98.7%

区分	回答数	割合
主に元請（全業務の6割以上）	170	56.5%
元請と下請は同じ程度（それぞれ4～6割）	62	20.6%
主に下請（全業務の6割以上）	69	22.9%

請負工事の受注方式

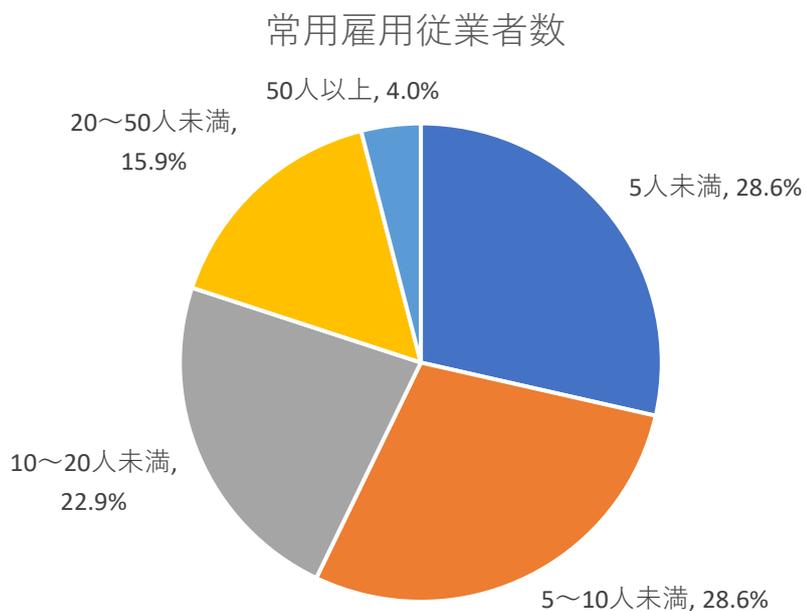


Q8-1 常用雇用従業者数をお教えてください。【単位：人】

常用雇用従業者数

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	301	4	98.7%

区分	回答数	割合
5人未満	86	28.6%
5～10人未満	86	28.6%
10～20人未満	69	22.9%
20～50人未満	48	15.9%
50人以上	12	4.0%

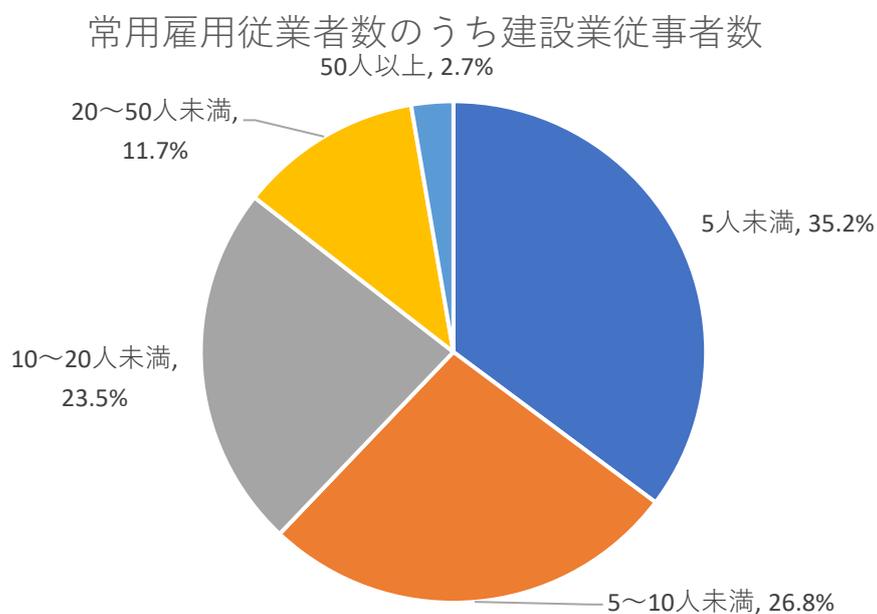


Q8-2 常用雇用従業者数のうち建設業従事者数をお教えてください。【単位：人】

常用雇用従業者数のうち建設業従事者数

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	298	7	97.7%

区分	回答数	割合
5人未満	105	35.2%
5～10人未満	80	26.8%
10～20人未満	70	23.5%
20～50人未満	35	11.7%
50人以上	8	2.7%

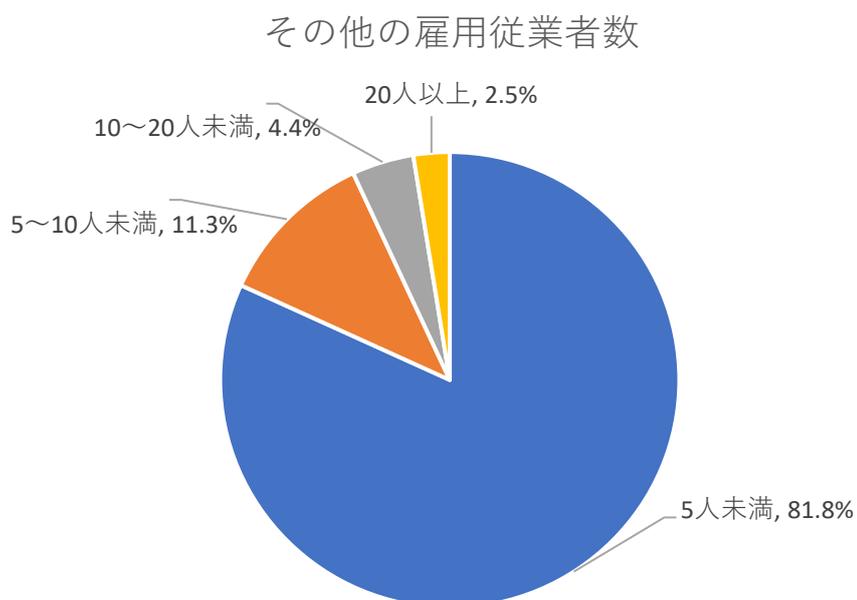


Q8-3 その他の雇用従業者数をお教えてください。【単位：人】

その他の雇用従業者数

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	275	30	90.2%

区分	回答数	割合
5人未満	225	81.8%
5～10人未満	31	11.3%
10～20人未満	12	4.4%
20人以上	7	2.5%

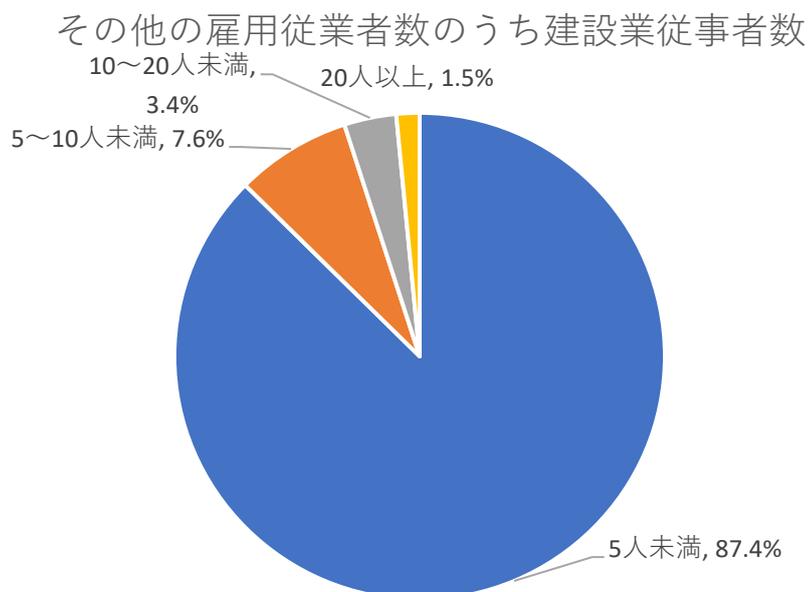


Q8-4 その他の雇用従業者数のうち建設業従事者数をお教えてください。【単位：人】

その他の雇用従業者数のうち建設業従事者数

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	262	43	85.9%

区分	回答数	割合
5人未満	229	87.4%
5～10人未満	20	7.6%
10～20人未満	9	3.4%
20人以上	4	1.5%



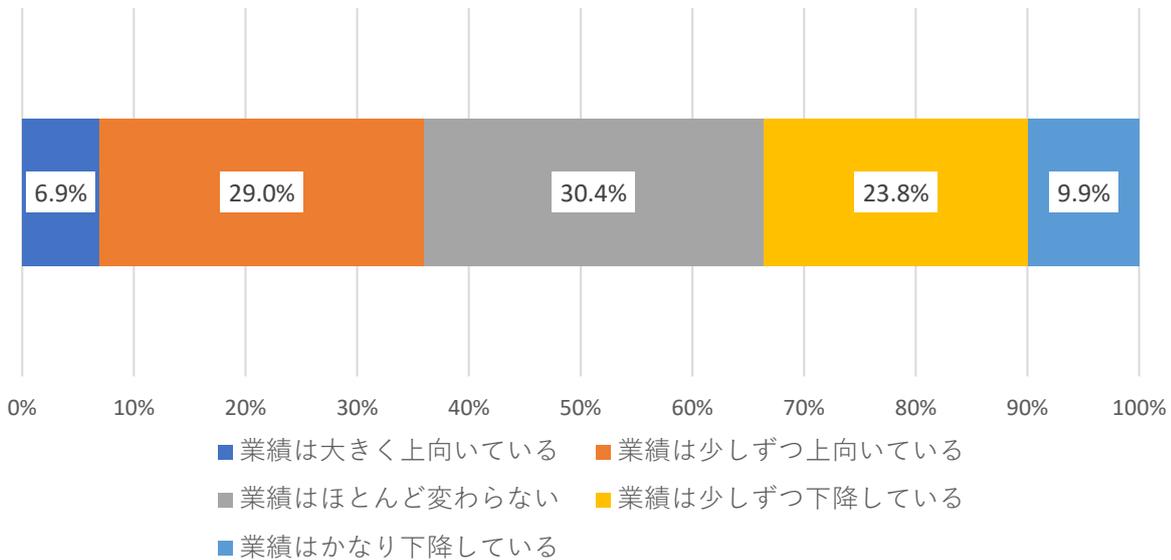
Q9 貴社の建設業に関する業績は平成 30 年頃と比較して、どのような状況ですか。

業績の推移

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

区分	回答数	割合
業績は大きく上向いている	21	6.9%
業績は少しずつ上向いている	88	29.0%
業績はほとんど変わらない	92	30.4%
業績は少しずつ下降している	72	23.8%
業績はかなり下降している	30	9.9%

業績の推移



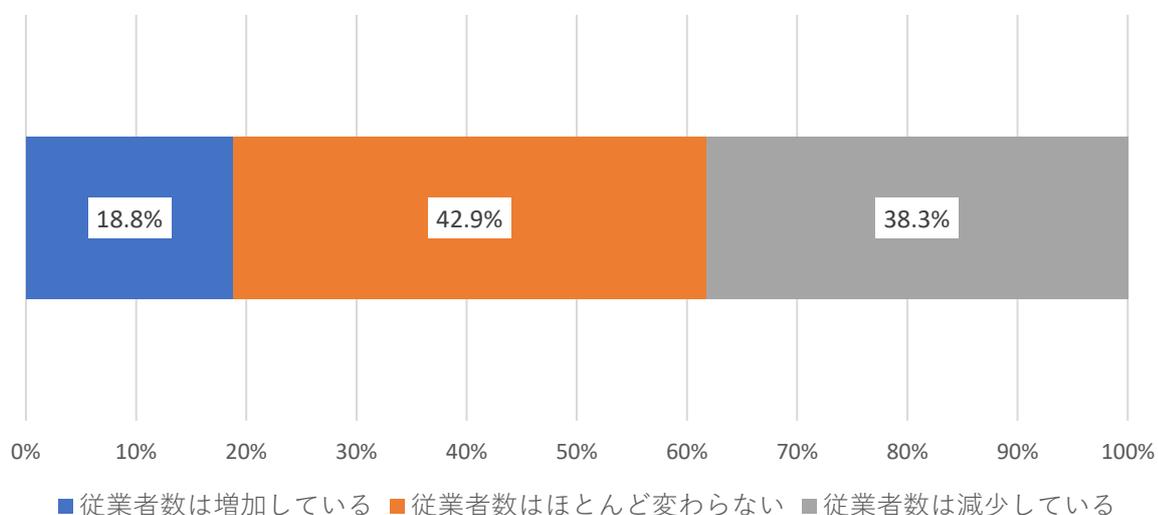
Q10 貴社の建設業に関する従業者数（常用雇用従業者のうち建設業に従事する人）は平成30年頃と比較して、どのような状況ですか。

従業者数の推移

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

区分	回答数	割合
従業者数は増加している	57	18.8%
従業者数はほとんど変わらない	130	42.9%
従業者数は減少している	116	38.3%

従業者数の推移



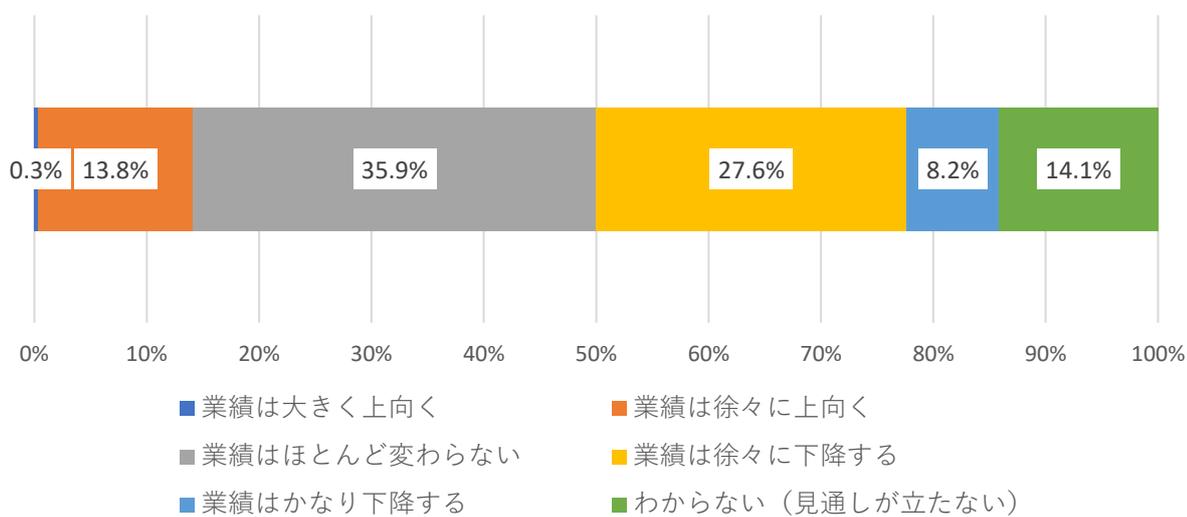
Q11 貴社の建設業に関する業績について今後の見通しをお教えてください。

今後の業績見通し

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	304	1	99.7%

区分	回答数	割合
業績は大きく上向く	1	0.3%
業績は徐々に上向く	42	13.8%
業績はほとんど変わらない	109	35.9%
業績は徐々に下降する	84	27.6%
業績はかなり下降する	25	8.2%
わからない（見通しが立たない）	43	14.1%

今後の業績見通し



Q12 貴社の現在の経営上の課題について当てはまるものをお選びください。【複数回答】

経営上の課題

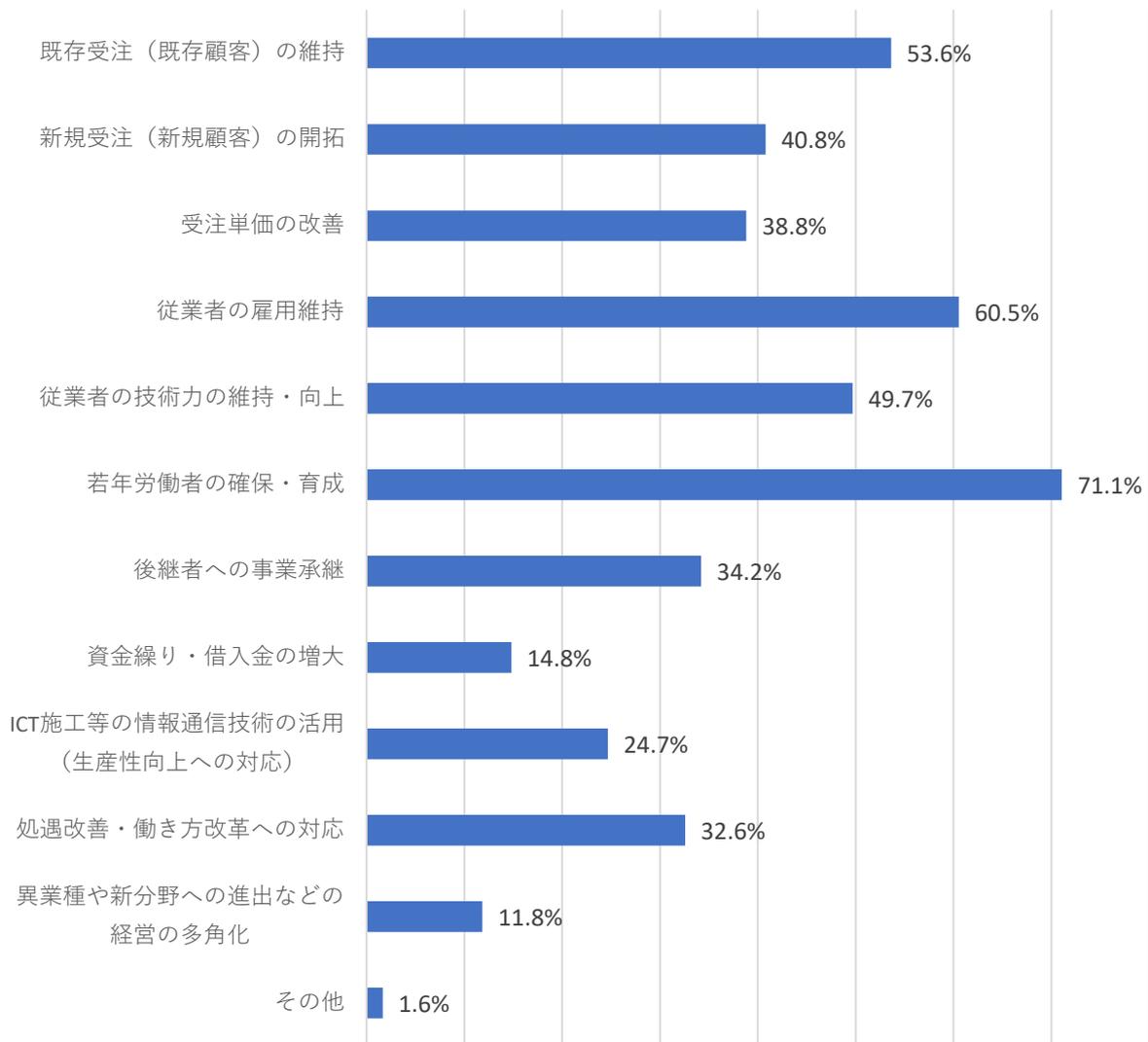
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	304	1	99.7%

区分	回答数	割合
既存受注（既存顧客）の維持	163	53.6%
新規受注（新規顧客）の開拓	124	40.8%
受注単価の改善	118	38.8%
従業員の雇用維持	184	60.5%
従業員の技術力の維持・向上	151	49.7%
若年労働者の確保・育成	216	71.1%
後継者への事業承継	104	34.2%
資金繰り・借入金の増大	45	14.8%
ICT施工等の情報通信技術の活用 （生産性向上への対応）	75	24.7%
処遇改善・働き方改革への対応	99	32.6%
異業種や新分野への進出などの 経営の多角化	36	11.8%
その他	5	1.6%

●その他記載

- ・公共工事の発注が少ない
- ・全国では人材不足と言われているが、徳島県では圧倒的に工事が少ない
- ・工事受注の維持ではなく、増加が課題
- ・施工管理技術者の中途採用
- ・従業員の施工管理技士資格取得
- ・発注数を増やして欲しい
- ・訳わからないシステム代金が多すぎる

経営上の課題



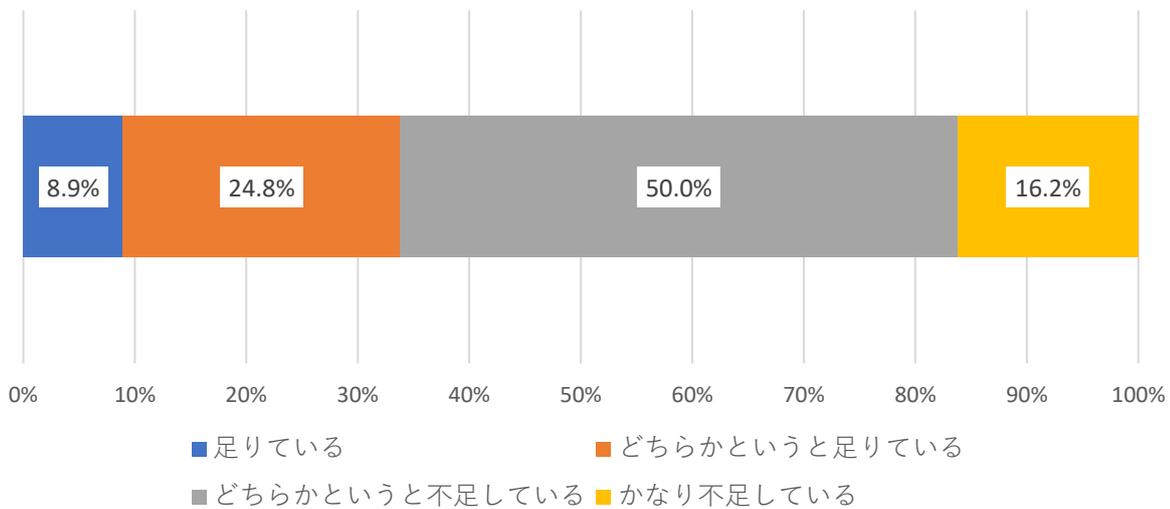
Q13 貴社で雇用している技術者（国家資格者等）は足りていると感じていますか。

技術者の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	302	3	99.0%

区分	回答数	割合
足りている	27	8.9%
どちらかというと足りている	75	24.8%
どちらかというと不足している	151	50.0%
かなり不足している	49	16.2%

技術者の状況



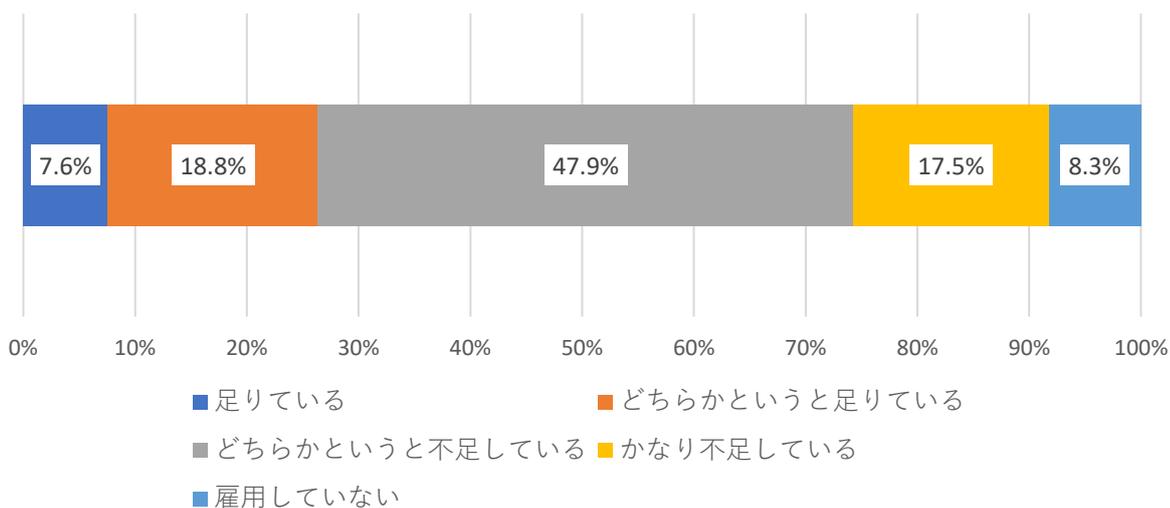
Q14 貴社で雇用している技能労働者（作業員、重機オペレーター等）は足りていると感じていますか。

技能労働者の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	4	98.7%

区分	回答数	割合
足りている	23	7.6%
どちらかというと足りている	57	18.8%
どちらかというと不足している	145	47.9%
かなり不足している	53	17.5%
雇用していない	25	8.3%

技能労働者の状況



※Q14で「どちらかというとは不足している」「かなり不足している」を選択した方

Q15 不足していると感じている技能労働者の職種は何ですか。【複数回答】

不足している技能労働者の職種

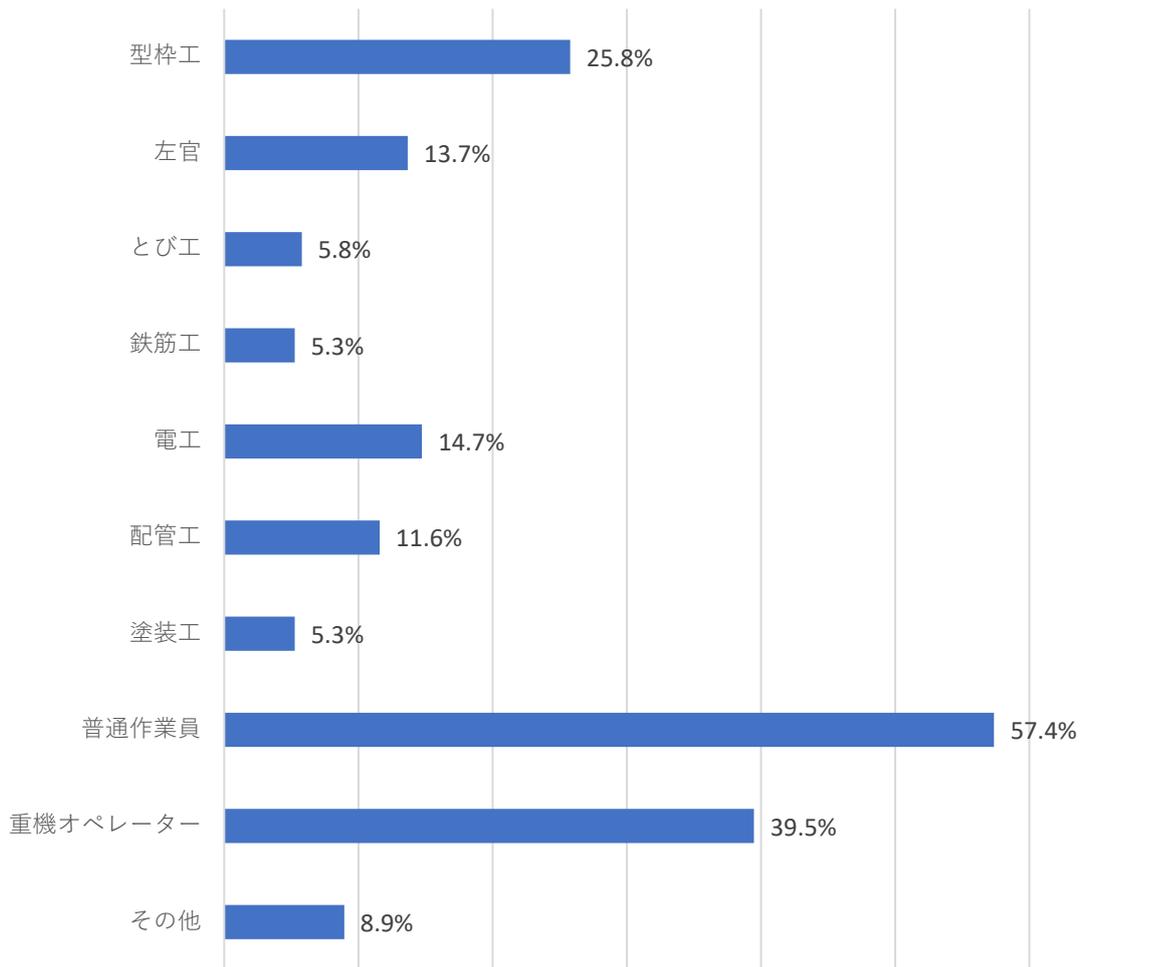
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
198	190	8	96.0%

区分	回答数	割合
型枠工	49	25.8%
左官	26	13.7%
とび工	11	5.8%
鉄筋工	10	5.3%
電工	28	14.7%
配管工	22	11.6%
塗装工	10	5.3%
普通作業員	109	57.4%
重機オペレーター	75	39.5%
その他	17	8.9%

●その他記載

- ・ 舗装工
- ・ 現場管理
- ・ 造園工
- ・ 法面工
- ・ 溶接工
- ・ 機械作業工
- ・ 大工
- ・ 建具工
- ・ 鍛冶工（鉄工）
- ・ 内装仕上げ
- ・ 電気通信工
- ・ 多機能工
- ・ 工事量が少ないから「どちらかと言えば不足している」にチェックしている

不足している技能労働者の職種



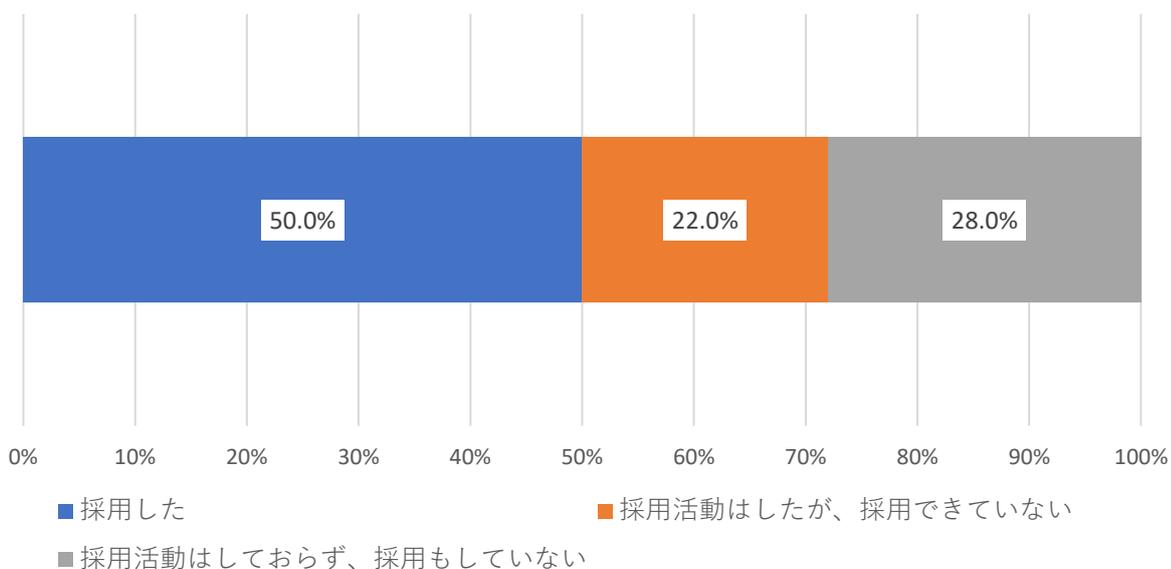
Q16 貴社ではこの5年間に技術者または技能労働者を新たに採用しましたか。

採用活動の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	304	1	99.7%

区分	回答数	割合
採用した	152	50.0%
採用活動はしたが、採用できていない	67	22.0%
採用活動はしておらず、採用もしていない	85	28.0%

採用活動の状況



※Q16で「採用した」を選択した方

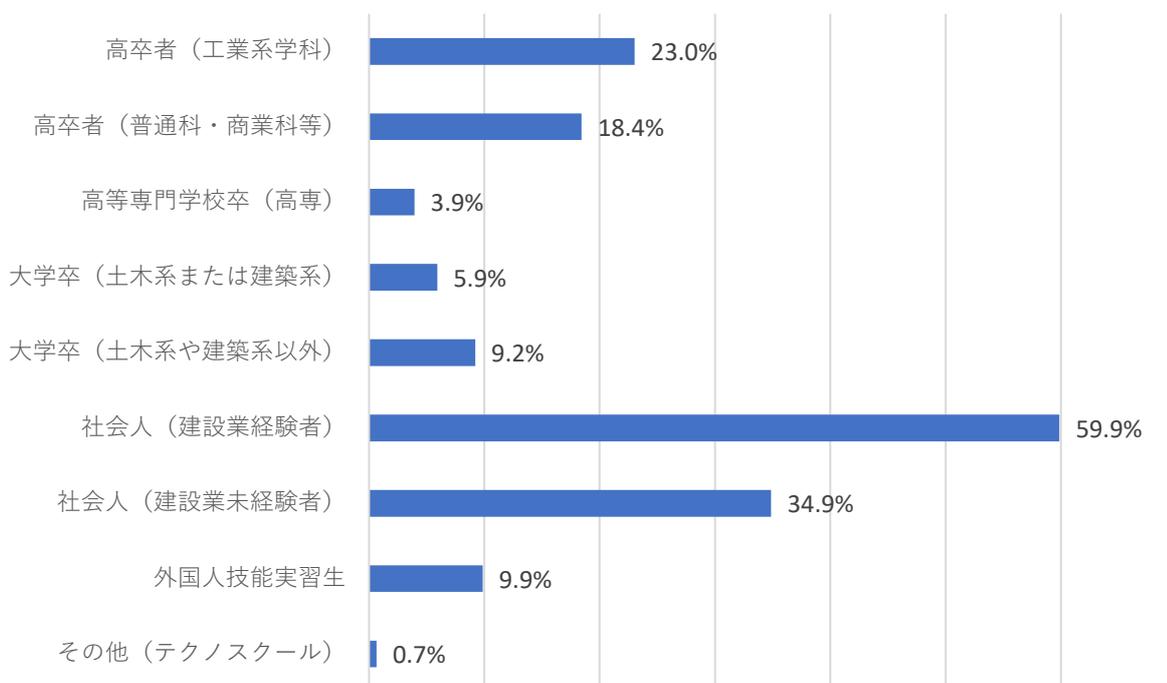
Q17 この5年間の新たな雇用について、どのような方を採用しましたか。【複数回答】

新たな採用者の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
152	151	1	99.3%

区分	回答数	割合
高卒者（工業系学科）	35	23.0%
高卒者（普通科・商業科等）	28	18.4%
高等専門学校卒（高専）	6	3.9%
大学卒（土木系または建築系）	9	5.9%
大学卒（土木系や建築系以外）	14	9.2%
社会人（建設業経験者）	91	59.9%
社会人（建設業未経験者）	53	34.9%
外国人技能実習生	15	9.9%
その他（テクノスクール）	1	0.7%

新たな採用者の状況



※Q16で「採用した」を選択した方

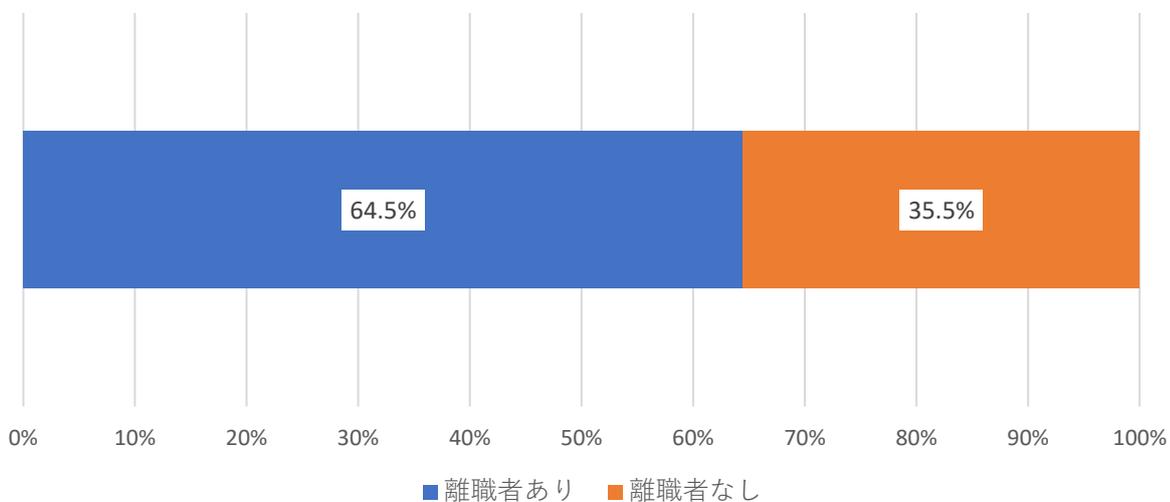
Q18 この5年間に採用した技術者・技能労働者で、離職した方はいらっしゃいましたか
(定年退職は除きます)。

離職状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
152	152	0	100.0%

区分	回答数	割合
離職者あり	98	64.5%
離職者なし	54	35.5%

離職状況



※Q18で「離職者あり」を選択した方

Q19 離職した方について、離職の理由をお教えてください。【複数回答】

離職した理由

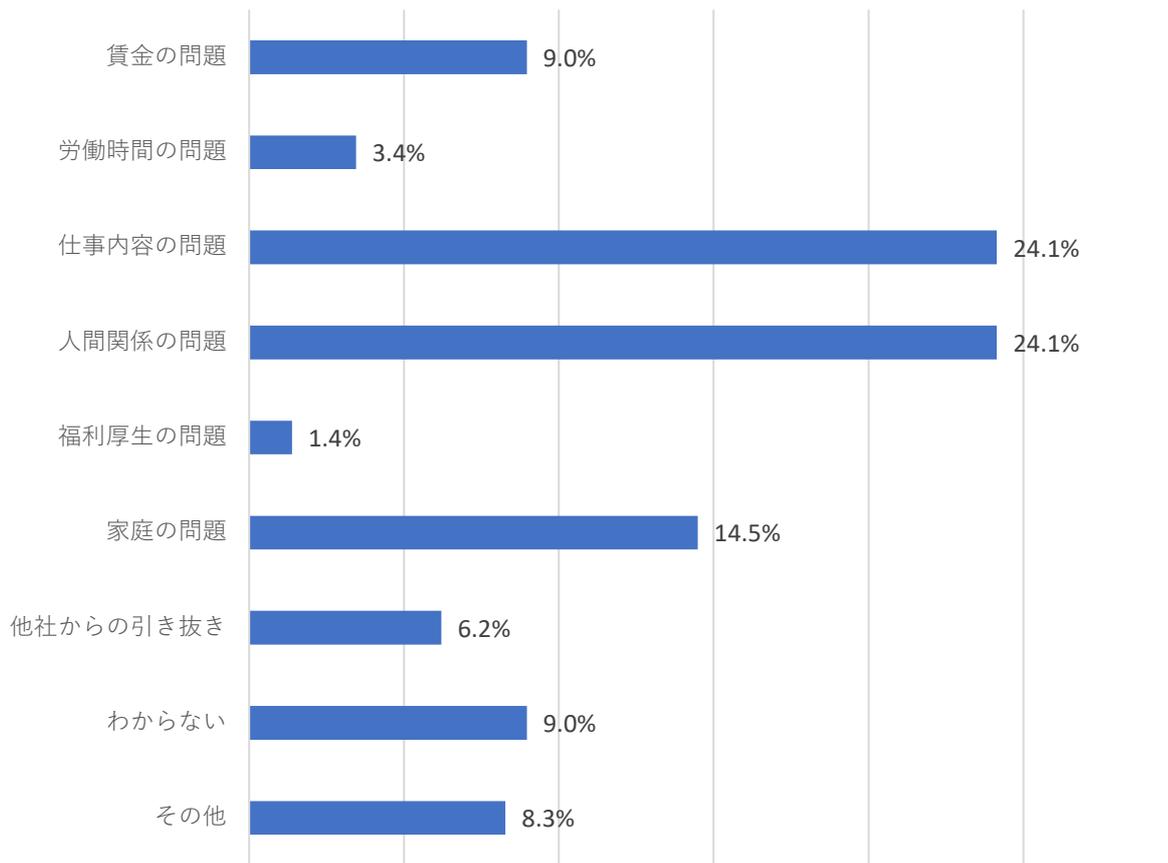
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
98	96	2	98.0%

区分	回答数	割合
賃金の問題	13	9.0%
労働時間の問題	5	3.4%
仕事内容の問題	35	24.1%
人間関係の問題	35	24.1%
福利厚生の問題	2	1.4%
家庭の問題	21	14.5%
他社からの引き抜き	9	6.2%
わからない	13	9.0%
その他	12	8.3%

●その他記載

- ・体調の問題
- ・独立した為
- ・高齢化
- ・受注工事の減少
- ・金銭トラブル
- ・本人が他にやりたいことがみつかった

離職した理由



※Q16で「採用活動はしておらず、採用もしていない」を選択した方

Q20 現在、採用活動を行っていない理由は何ですか。

採用活動を行わない理由

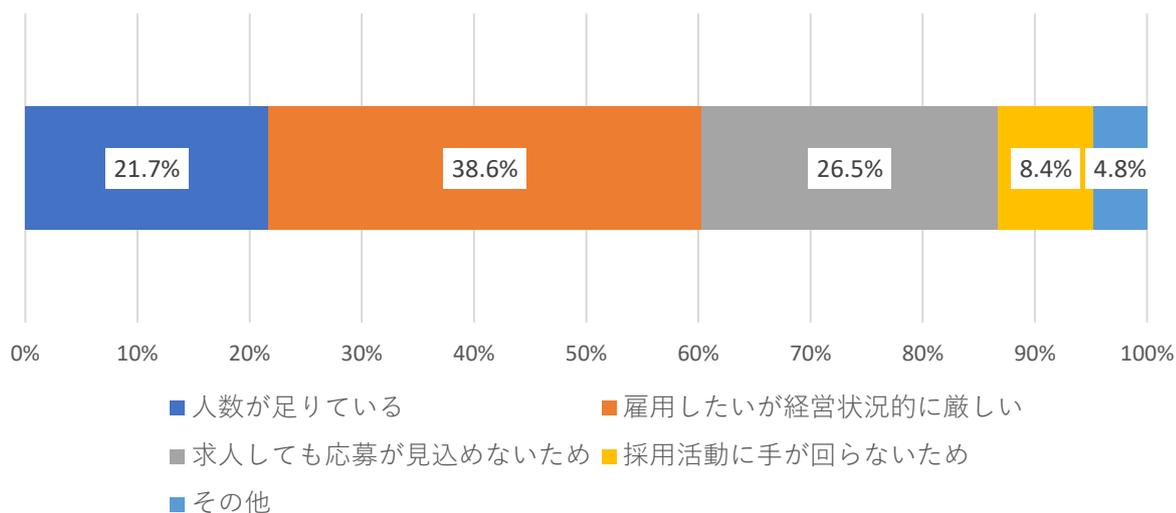
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
85	83	2	97.6%

区分	回答数	割合
人数が足りている	18	21.7%
雇用したいが経営状況的に厳しい	32	38.6%
求人しても応募が見込めないため	22	26.5%
採用活動に手が回らないため	7	8.4%
その他	4	4.8%

●その他 記載

- ・経営存続への不安

採用活動を行わない理由



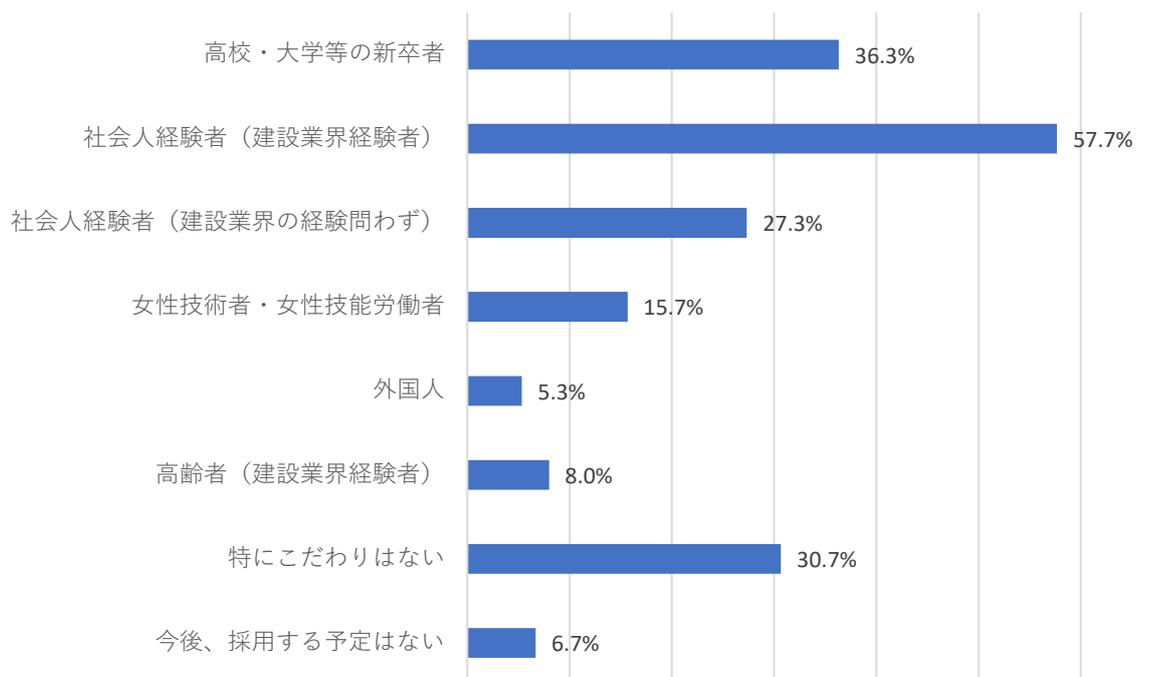
Q21 技術者や技能労働者の人材確保について、今後貴社ではどのような人材を優先的に採用したいとお考えですか。【複数回答】

今後採用したい人材

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	300	5	98.4%

区分	回答数	割合
高校・大学等の新卒者	109	36.3%
社会人経験者（建設業界経験者）	173	57.7%
社会人経験者（建設業界の経験問わず）	82	27.3%
女性技術者・女性技能労働者	47	15.7%
外国人	16	5.3%
高齢者（建設業界経験者）	24	8.0%
特にこだわりはない	92	30.7%
今後、採用する予定はない	20	6.7%

今後採用したい人材



Q22 貴社において担い手を確保するため、重要と考えていることは何ですか。

【複数回答】

担い手確保のために重要な点

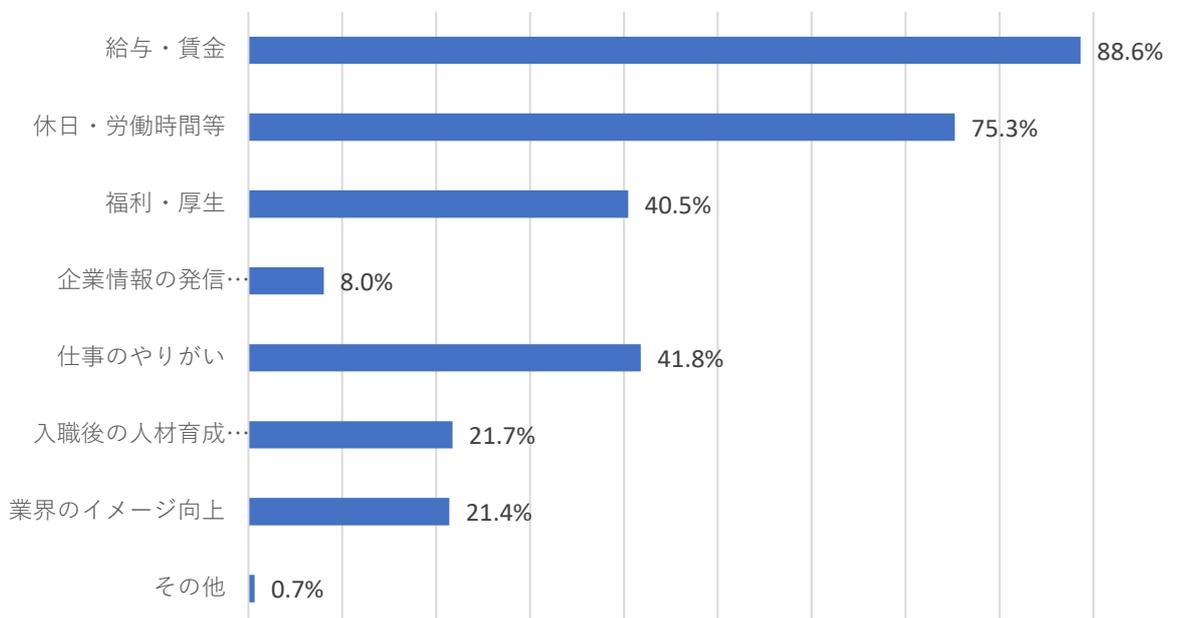
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	299	6	98.0%

区分	回答数	割合
給与・賃金	265	88.6%
休日・労働時間等	225	75.3%
福利・厚生	121	40.5%
企業情報の発信 (採用活動・インターンの受入等)	24	8.0%
仕事のやりがい	125	41.8%
入職後の人材育成 (資格取得支援等)	65	21.7%
業界のイメージ向上	64	21.4%
その他	2	0.7%

●その他 記載

- ・社長や社員の人間性を磨く
- ・従業員の意識向上

担い手確保のために重要な点



Q23 担い手を確保するために貴社が行っている取組み（情報発信）についてお教えてください。【複数回答】

担い手確保のために行っていること

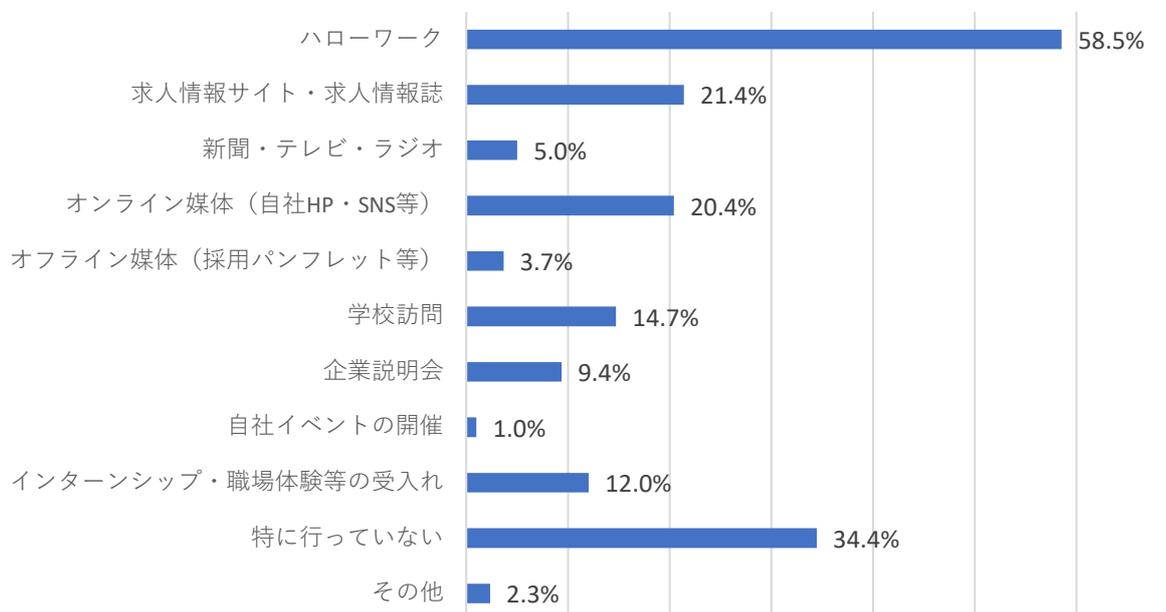
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	299	6	98.0%

区分	回答数	割合
ハローワーク	175	58.5%
求人情報サイト・求人情報誌	64	21.4%
新聞・テレビ・ラジオ	15	5.0%
オンライン媒体（自社HP・SNS等）	61	20.4%
オフライン媒体（採用パンフレット等）	11	3.7%
学校訪問	44	14.7%
企業説明会	28	9.4%
自社イベントの開催	3	1.0%
インターンシップ・職場体験等の受入れ	36	12.0%
特に行っていない	103	34.4%
その他	7	2.3%

●その他 記載

- ・紹介
- ・デジタルサイネージ等の広告活用

担い手確保のために行っていること



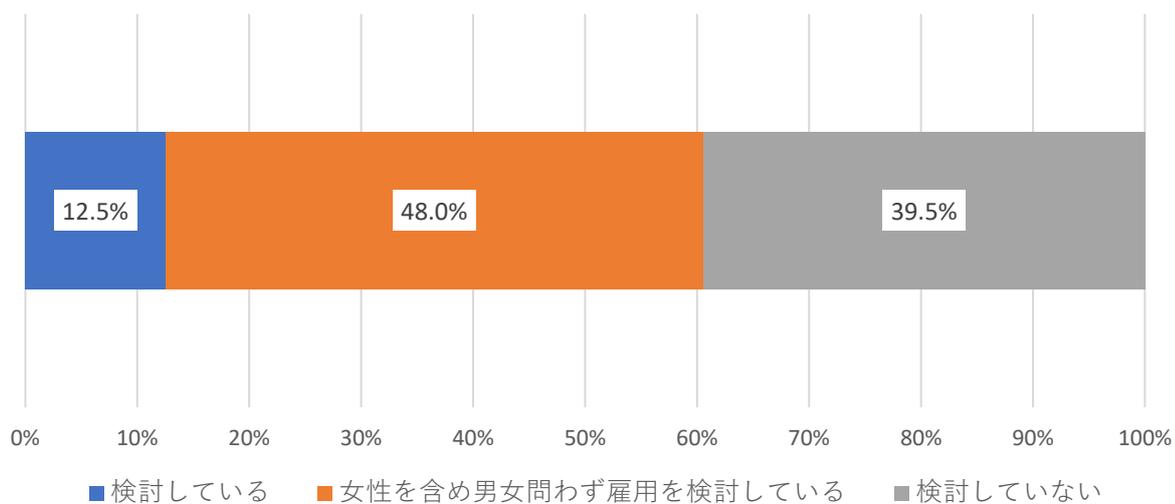
Q24 貴社では、女性技術者や女性技能労働者の雇用を検討していますか。

女性技術者・技能労働者の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	304	1	99.7%

区分	回答数	割合
検討している	38	12.5%
女性を含め男女問わず雇用を検討している	146	48.0%
検討していない	120	39.5%

女性技術者・技能労働者の状況



Q25 貴社がお考えの建設業における女性の活躍を推進する上での課題をお教えてください。

【複数回答】

女性が活躍するための課題

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	300	5	98.4%

区分	回答数	割合
体力が必要なため、できる仕事に限られる	121	40.3%
代替要員の確保が困難・離職率が高い	38	12.7%
職場環境整備にコストがかかる	43	14.3%
残業等させにくい	37	12.3%
入職を希望している者が少ない	166	55.3%
考えたことがない	65	21.7%
その他	7	2.3%

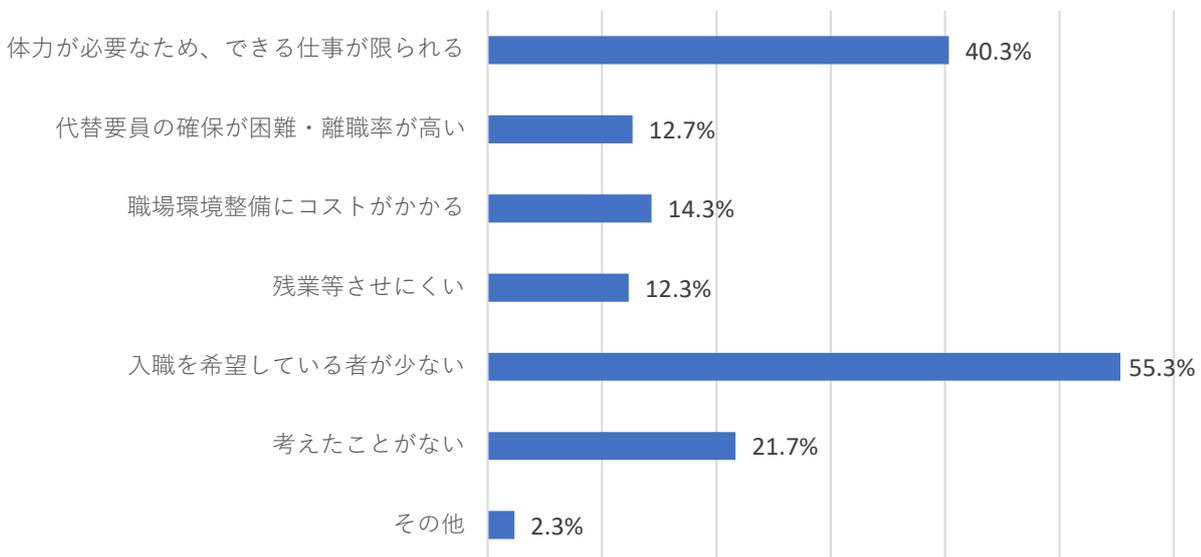
● その他 記載

・ 就労環境の提供が困難

①トイレ、②更衣室、③暑さ対策

①ハラスメント対策、②育児との両立

女性が活躍するための課題



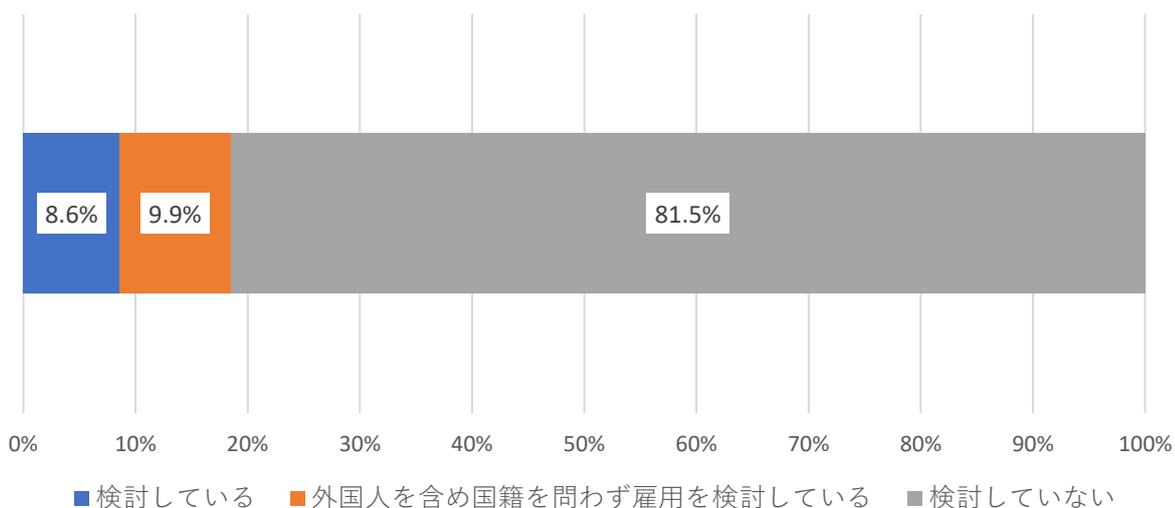
Q26 貴社では、外国人労働者の受入れを検討していますか。

外国人労働者の受入れ状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

区分	回答数	割合
検討している	26	8.6%
外国人を含め国籍を問わず雇用を検討している	30	9.9%
検討していない	247	81.5%

外国人労働者の受入れ状況



※Q26で「検討していない」を選択した方

Q27 外国人労働者の雇用を検討していない理由をお教えてください。【複数回答】

外国人労働者の雇用を検討しない理由

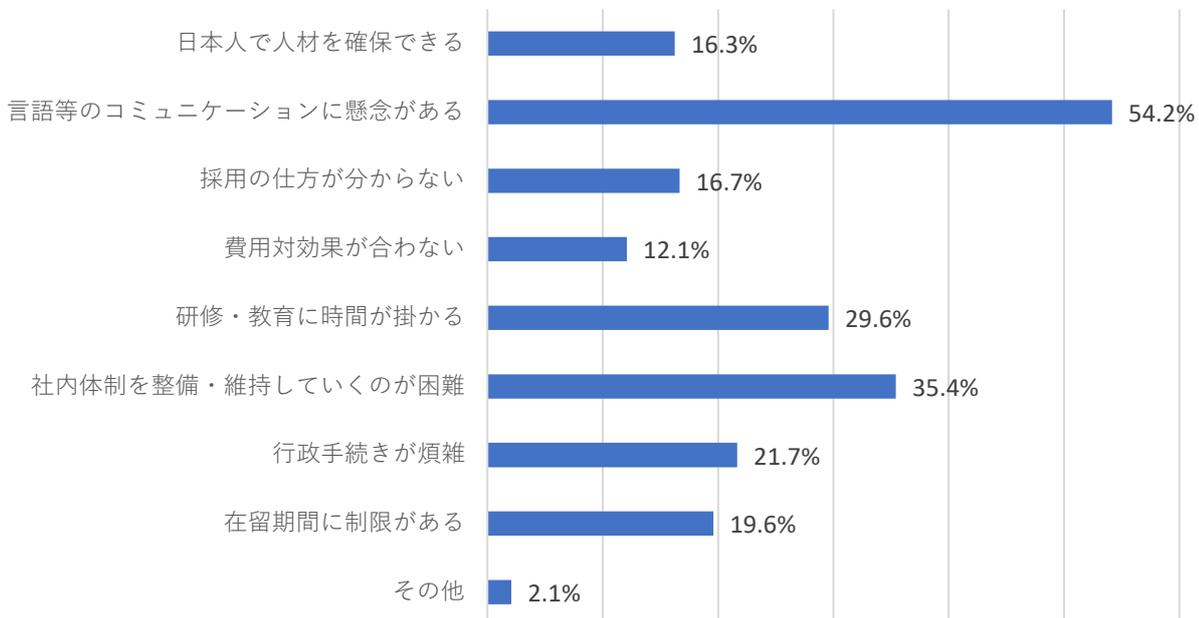
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
247	240	7	97.2%

区分	回答数	割合
日本人で人材を確保できる	39	16.3%
言語等のコミュニケーションに懸念がある	130	54.2%
採用の仕方が分からない	40	16.7%
費用対効果が合わない	29	12.1%
研修・教育に時間が掛かる	71	29.6%
社内体制を整備・維持していくのが困難	85	35.4%
行政手続きが煩雑	52	21.7%
在留期間に制限がある	47	19.6%
その他	5	2.1%

●その他 記載

- ・外国人労働者の雇用に抵抗があるため

外国人労働者の雇用を検討しない理由



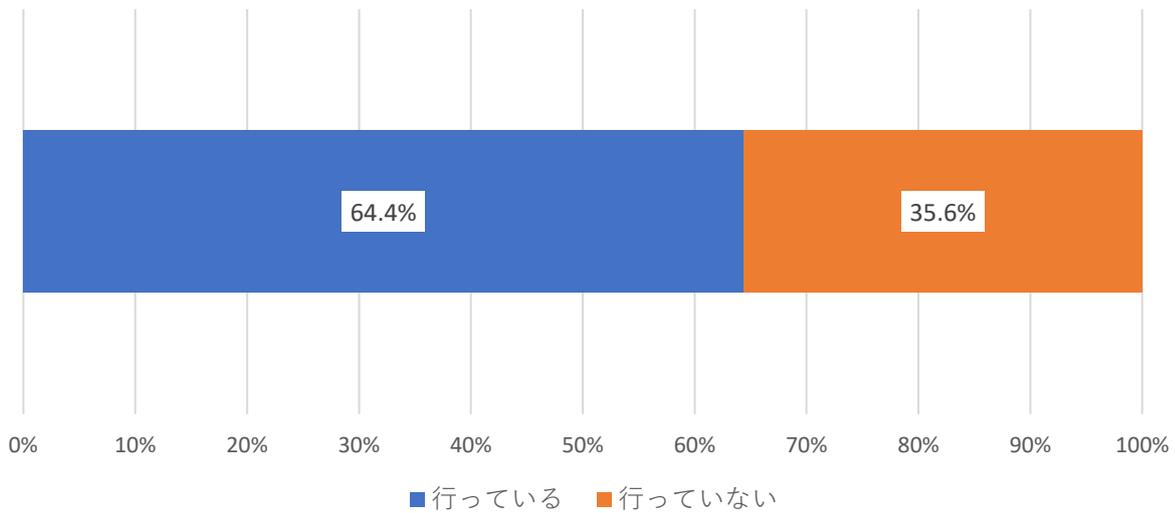
Q28 貴社において、技術者や技能労働者を育成するために取組みを行っていますか。

人材育成の取組状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

区分	回答数	割合
行っている	195	64.4%
行っていない	108	35.6%

人材育成の取組状況



※Q28で「行っている」を選択した方

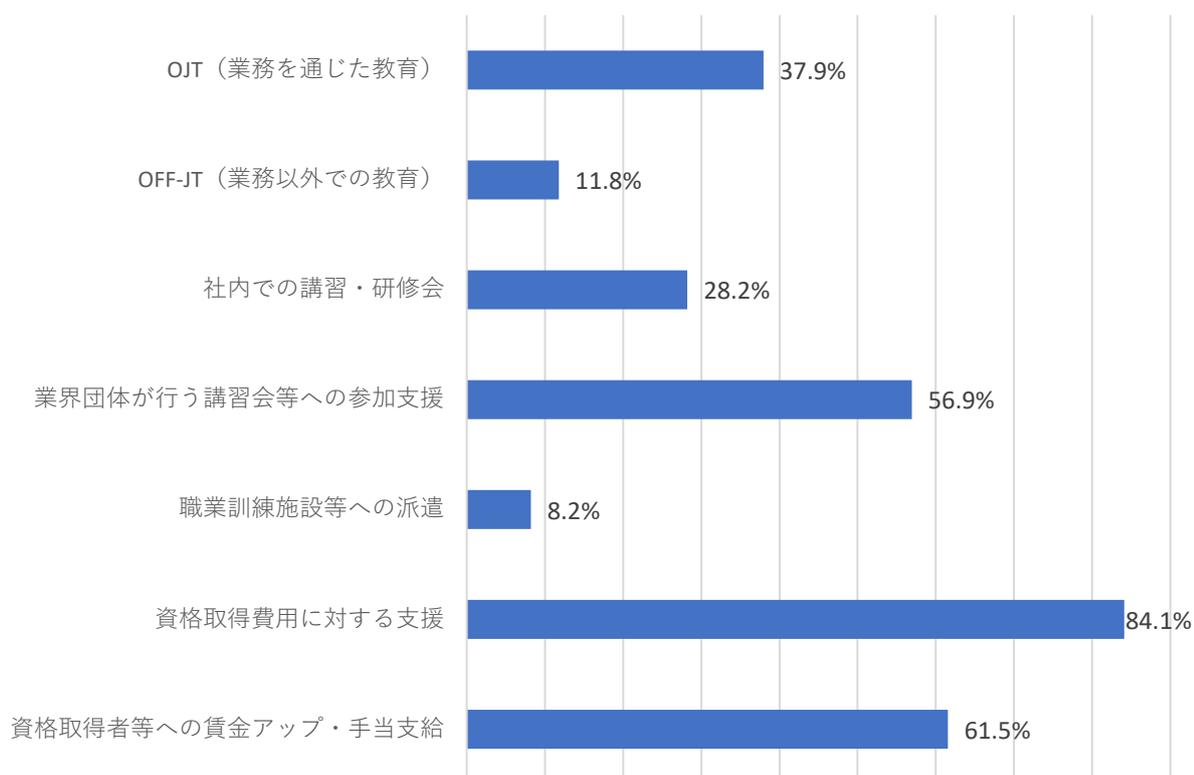
Q29 貴社において行っている取組みをお教えてください。

人材育成のために実施していること

総回収数	有効回答数	回答率
195	195	100.0%

区分	回答数	割合
OJT（業務を通じた教育）	74	37.9%
OFF-JT（業務以外での教育）	23	11.8%
社内での講習・研修会	55	28.2%
業界団体が行う講習会等への参加支援	111	56.9%
職業訓練施設等への派遣	16	8.2%
資格取得費用に対する支援	164	84.1%
資格取得者等への賃金アップ・手当支給	120	61.5%
その他	-	0%

人材育成のために実施していること



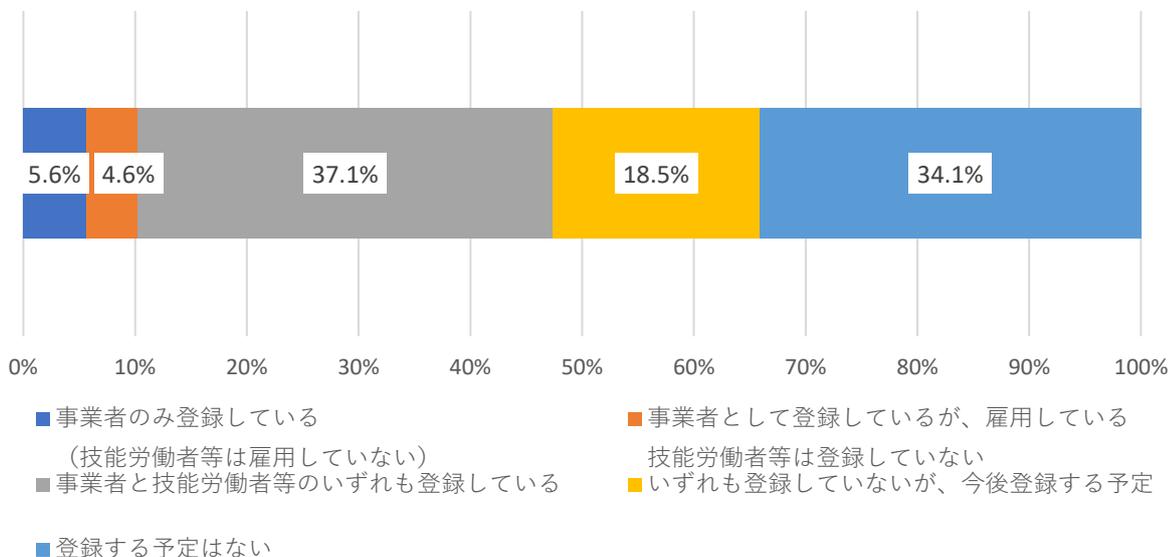
Q30 建設キャリアアップシステム（CCUS）の事業者・技能労働者等の登録状況をお教えください。

建設キャリアアップシステムの登録状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	302	2	99.0%

区分	回答数	割合
事業者のみ登録している (技能労働者等は雇用していない)	17	5.6%
事業者として登録しているが、雇用している 技能労働者等は登録していない	14	4.6%
事業者と技能労働者等のいずれも登録している	112	37.1%
いずれも登録していないが、今後登録する予定	56	18.5%
登録する予定はない	103	34.1%

建設キャリアアップシステムの登録状況



※Q30で「登録する予定はない」を選択した方

Q31 登録をしない理由をお教えてください。

建設キャリアアップシステムの登録しない理由

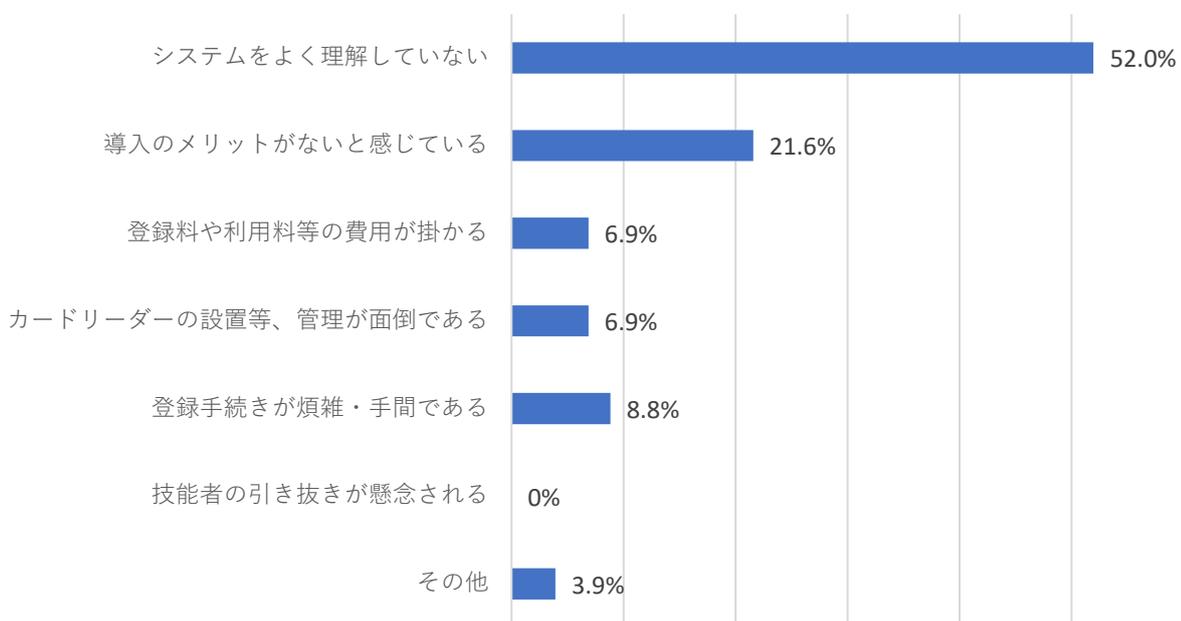
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
103	102	1	99.0%

区分	回答数	割合
システムをよく理解していない	53	52.0%
導入のメリットがないと感じている	22	21.6%
登録料や利用料等の費用が掛かる	7	6.9%
カードリーダーの設置等、管理が面倒である	7	6.9%
登録手続きが煩雑・手間である	9	8.8%
技能者の引き抜きが懸念される	-	0%
その他	4	3.9%

●その他 記載

- ・ 廃業を考えている
- ・ 技能労働者がいないから
- ・ 主業務が維持管理業務（建設業法対象外）であるため

建設キャリアアップシステムの登録しない理由



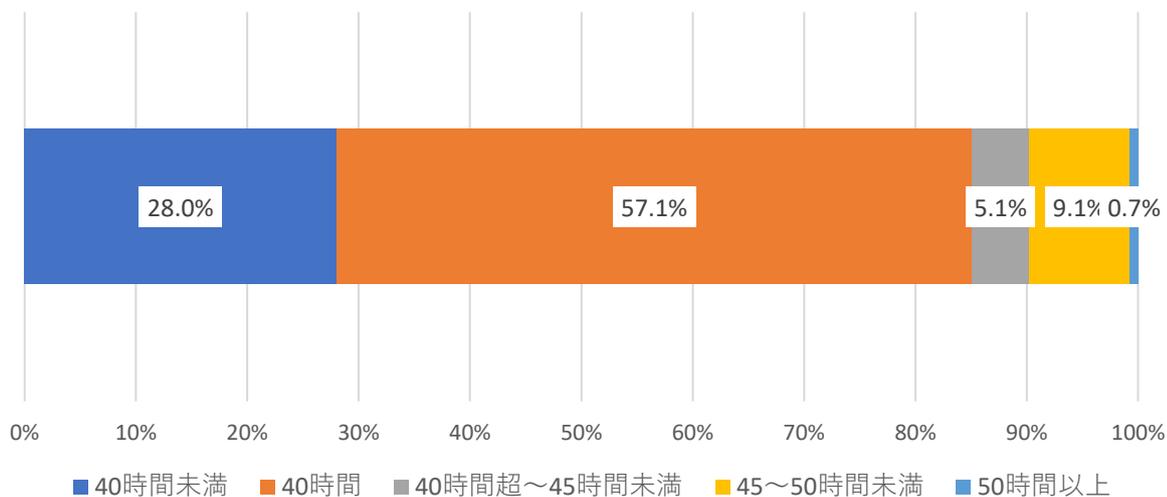
Q32 貴社の所定労働時間をお教えてください。

所定労働時間

総回収数	有効回答数	無回答・無効回答	回答率
305	275	30	90.2%

区分	回答数	割合
40時間未満	77	28.0%
40時間	157	57.1%
40時間超～45時間未満	14	5.1%
45～50時間未満	25	9.1%
50時間以上	2	0.7%

所定労働時間



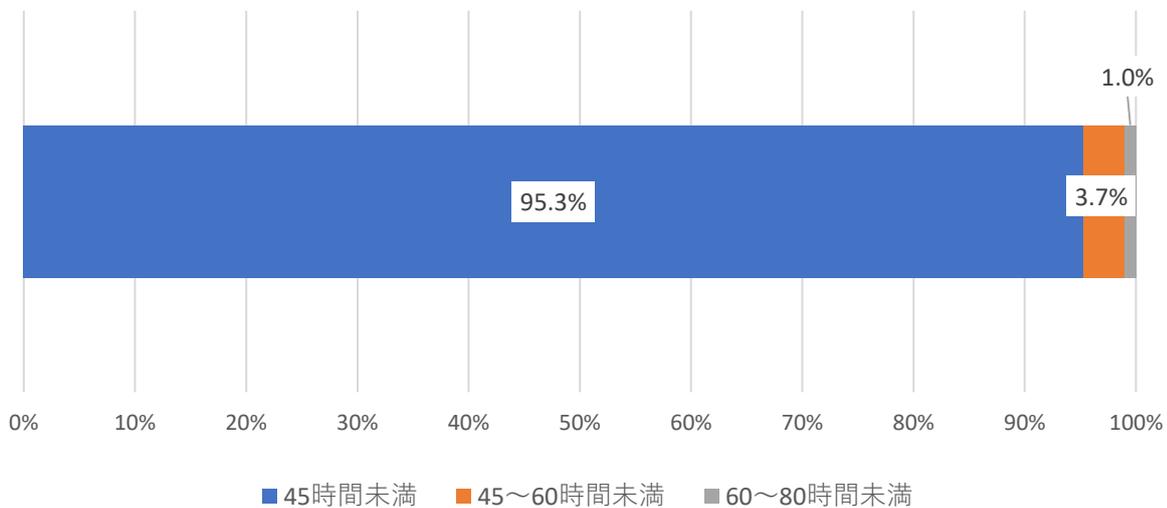
Q33 貴社にお勤めの技術者（国家資格者等）の1か月当たりの平均残業時間ほどの程度でしょうか。

技術者の平均残業時間

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	296	9	97.0%

区分	回答数	割合
45時間未満	282	95.3%
45～60時間未満	11	3.7%
60～80時間未満	3	1.0%
80～100時間未満	-	0%
100時間以上	-	0%

技術者の平均残業時間



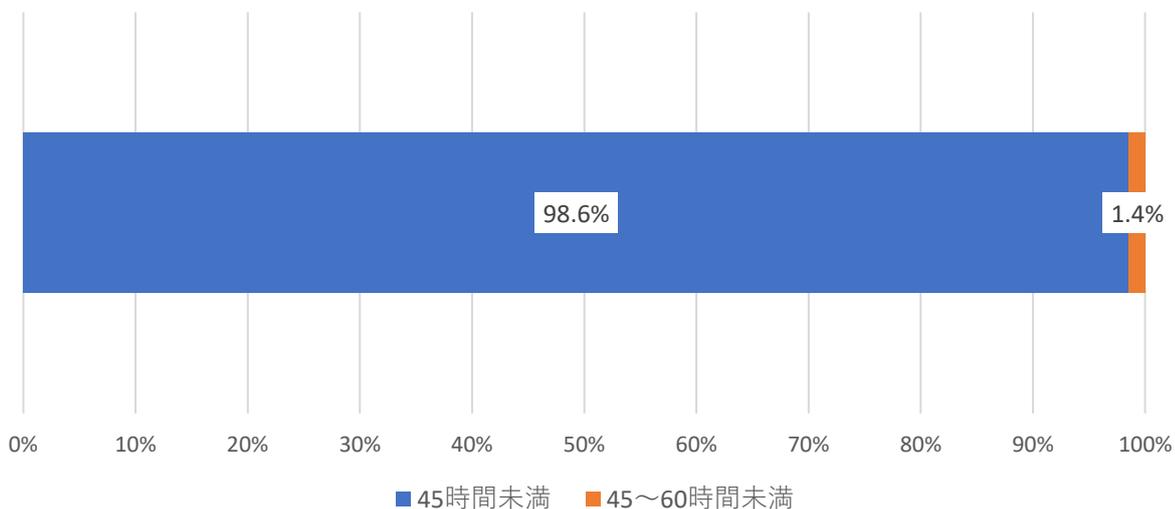
Q34 貴社にお勤めの技能労働者（作業員、重機オペレーター等）の1か月当たりの平均残業時間はどの程度でしょうか。

技能労働者の平均残業時間

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	284	21	93.1%

区分	回答数	割合
45時間未満	280	98.6%
45～60時間未満	4	1.4%
60～80時間未満	-	0%
80～100時間未満	-	0%
100時間以上	-	0%

技能労働者の平均残業時間



Q35 貴社にお勤めの技術者（国家資格者等で常用雇用者）について、主な賃金支払い形態はどのようなものでしょうか。

技術者への賃金支払い形態

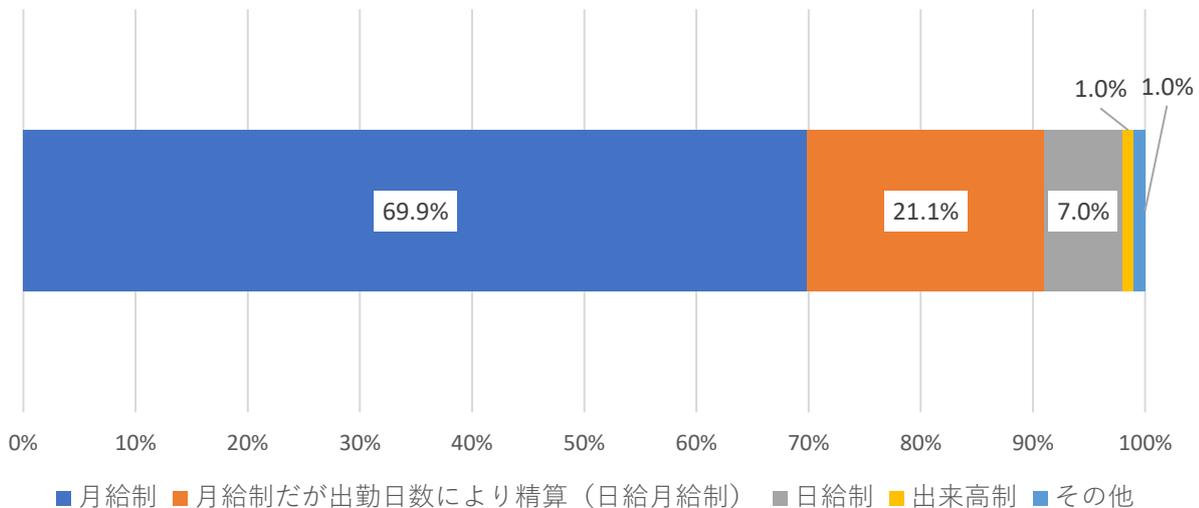
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	299	6	98.0%

区分	回答数	割合
月給制	209	69.9%
月給制だが出勤日数により精算（日給月給制）	63	21.1%
日給制	21	7.0%
出来高制	3	1.0%
その他	3	1.0%

●その他 記載

- ・個人事業主の為月給制ではない
- ・常用雇用者がいない
- ・月給制と日給月給

技術者への賃金支払い形態



Q36 貴社にお勤めの技能労働者（作業員、重機オペレーター等で常用雇用者）について、
 主な賃金支払い形態はどのようなものでしょうか。

技能労働者への賃金支払い形態

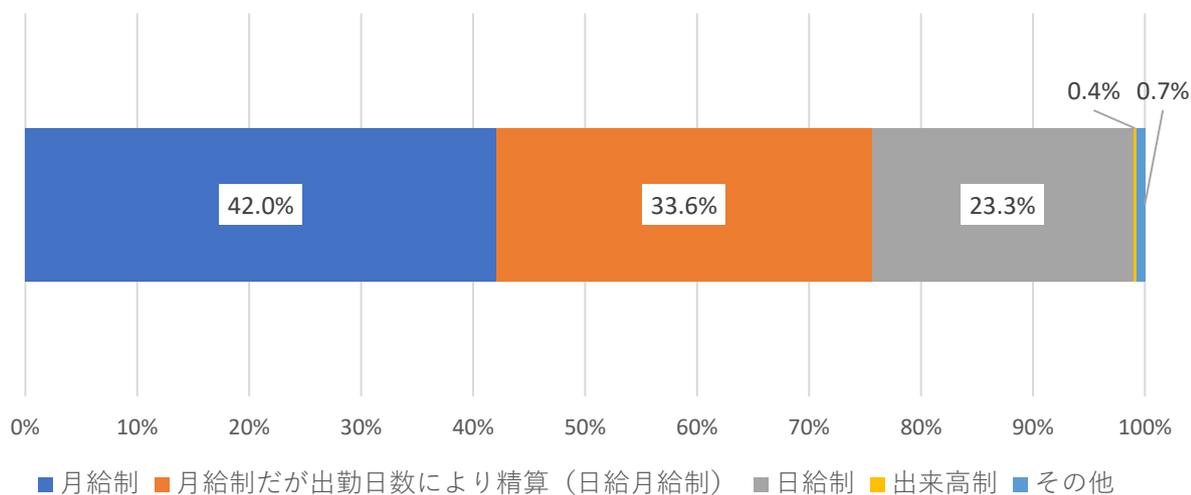
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	283	22	92.8%

区分	回答数	割合
月給制	119	42.0%
月給制だが出勤日数により精算（日給月給制）	95	33.6%
日給制	66	23.3%
出来高制	1	0.4%
その他	2	0.7%

●その他 記載

- ・日給と月給両方

技能労働者への賃金支払い形態



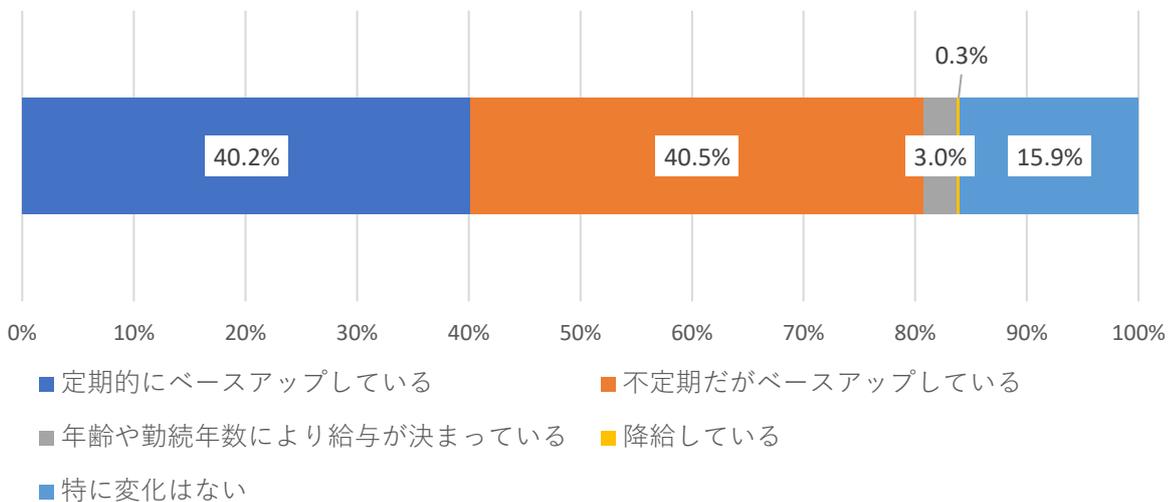
Q37 貴社の技術者・技能労働者への給与について、この5年間の昇給の状況を教えてください。

昇給の状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	301	4	98.7%

区分	回答数	割合
定期的にベースアップしている	121	40.2%
不定期だがベースアップしている	122	40.5%
年齢や勤続年数により給与が決まっている	9	3.0%
降給している	1	0.3%
特に変化はない	48	15.9%

昇給の状況



Q38 貴社の技術者・技能労働者の方々のおおよその週休2日の実施状況について、当てはまるものを選んでください。

休暇の取得状況

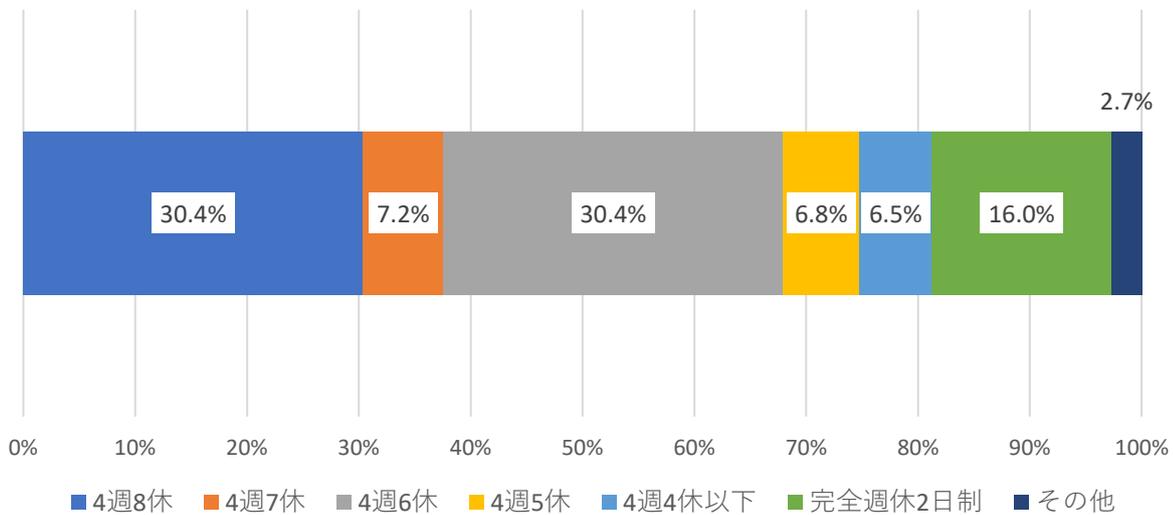
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	293	12	96.1%

区分	回答数	割合
4週8休	89	30.4%
4週7休	21	7.2%
4週6休	89	30.4%
4週5休	20	6.8%
4週4休以下	19	6.5%
完全週休2日制	47	16.0%
その他	8	2.7%

●その他 記載

- ・年間で100日程度の休暇
- ・変形労働時間制（年間カレンダーのとおり）
- ・土日祝日休み

休暇の取得状況



Q39 貴社がお考えの週休2日達成の妨げの要因について、お教えてください。【複数回答】

週休2日制が困難な理由

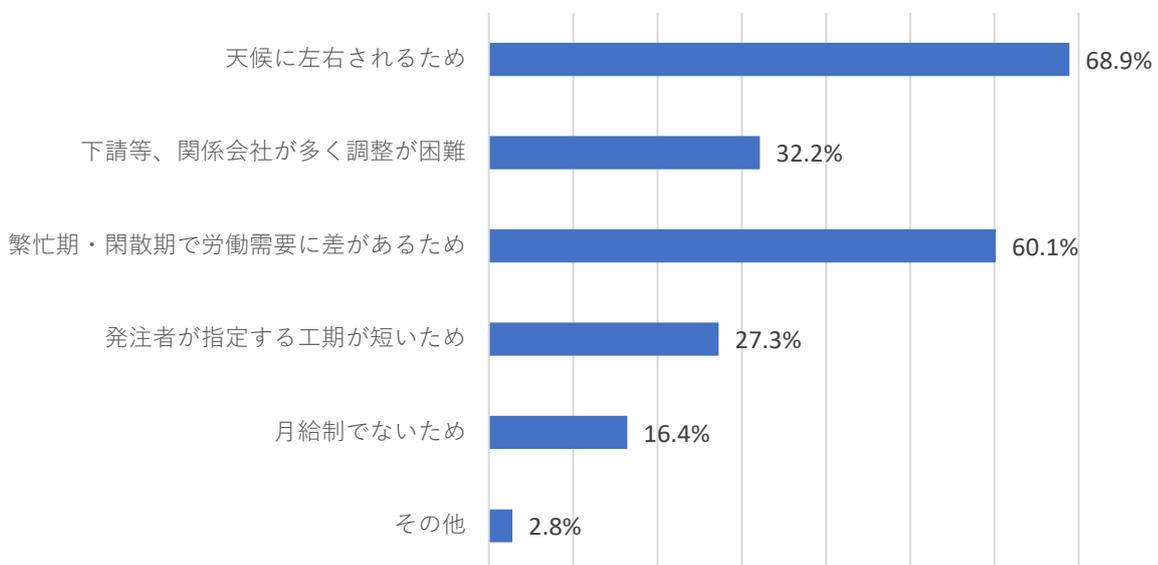
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	286	19	93.8%

区分	回答数	割合
天候に左右されるため	197	68.9%
下請等、関係会社が多く調整が困難	92	32.2%
繁忙期・閑散期で労働需要に差があるため	172	60.1%
発注者が指定する工期が短いため	78	27.3%
月給制でないため	47	16.4%
その他	8	2.8%

●その他 記載

- ・基本的に完全週休2日を実施しているが必要に応じ交代制を採用、
- ・年間休日数に基づいているため、
- ・発注先の都合、
- ・土曜日でないと作業できない仕事がある、
- ・賃金が労働時間と連動して算出される概念が根深い

週休2日制が困難な理由



Q40 処遇の改善や働き方改革を実施していくうえで、貴社が必要とお考えの条件についてお教えてください。【複数回答】

働き方改革について

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

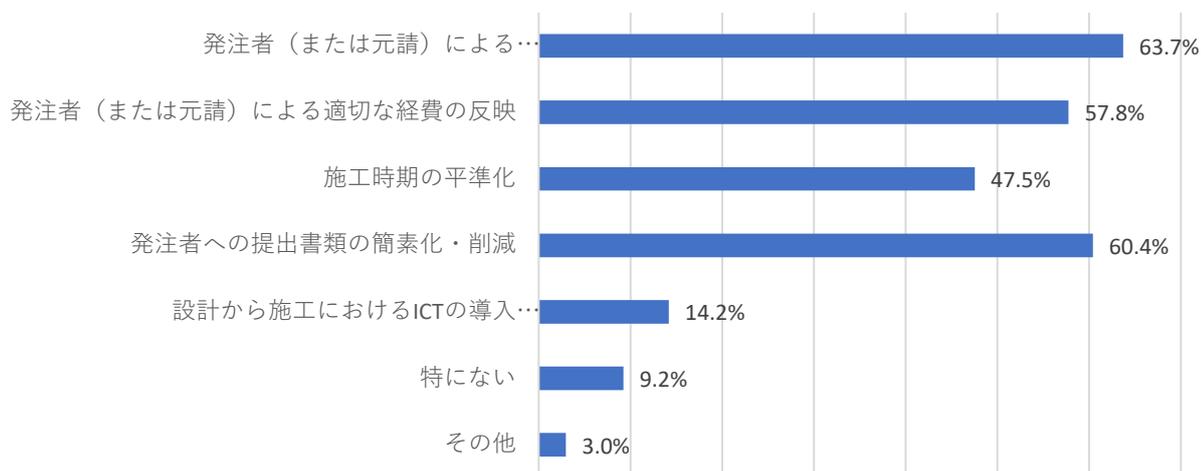
区分	回答数	割合
発注者（または元請）による適切な工期（余裕のある工期）の設定	193	63.7%
発注者（または元請）による適切な経費の反映	175	57.8%
施工時期の平準化	144	47.5%
発注者への提出書類の簡素化・削減	183	60.4%
設計から施工におけるICTの導入（現場施工の効率化）	43	14.2%
特にない	28	9.2%
その他	9	3.0%

●その他 記載

- ・発注者に対する意識啓発の推進
- ・発注者の理解と協力を得る

※特に①週休二日制度、②賃金向上、③物価高騰対策についてが課題

働き方改革について



Q41 労働時間上限規制への対応に向けた残業時間削減への取組についてお教えてください。

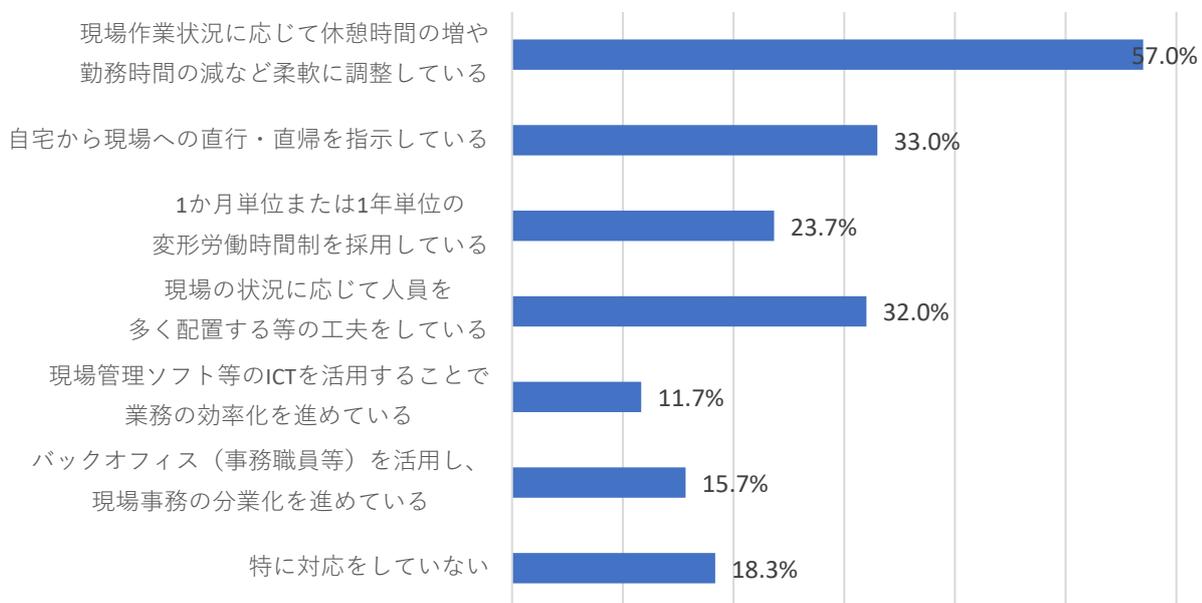
【複数回答】

残業時間削減への取組

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	300	5	98.4%

区分	回答数	割合
現場作業状況に応じて休憩時間の増や勤務時間の減など柔軟に調整している	171	57.0%
自宅から現場への直行・直帰を指示している	99	33.0%
1か月単位または1年単位の変形労働時間制を採用している	71	23.7%
現場の状況に応じて人員を多く配置する等の工夫をしている	96	32.0%
現場管理ソフト等のICTを活用することで業務の効率化を進めている	35	11.7%
バックオフィス（事務職員等）を活用し、現場事務の分業化を進めている	47	15.7%
特に対応をしていない	55	18.3%
その他	-	0%

残業時間削減への取組



Q42 貴社のICT導入・活用状況をお教えてください。【複数回答】

ICT導入・活用状況について

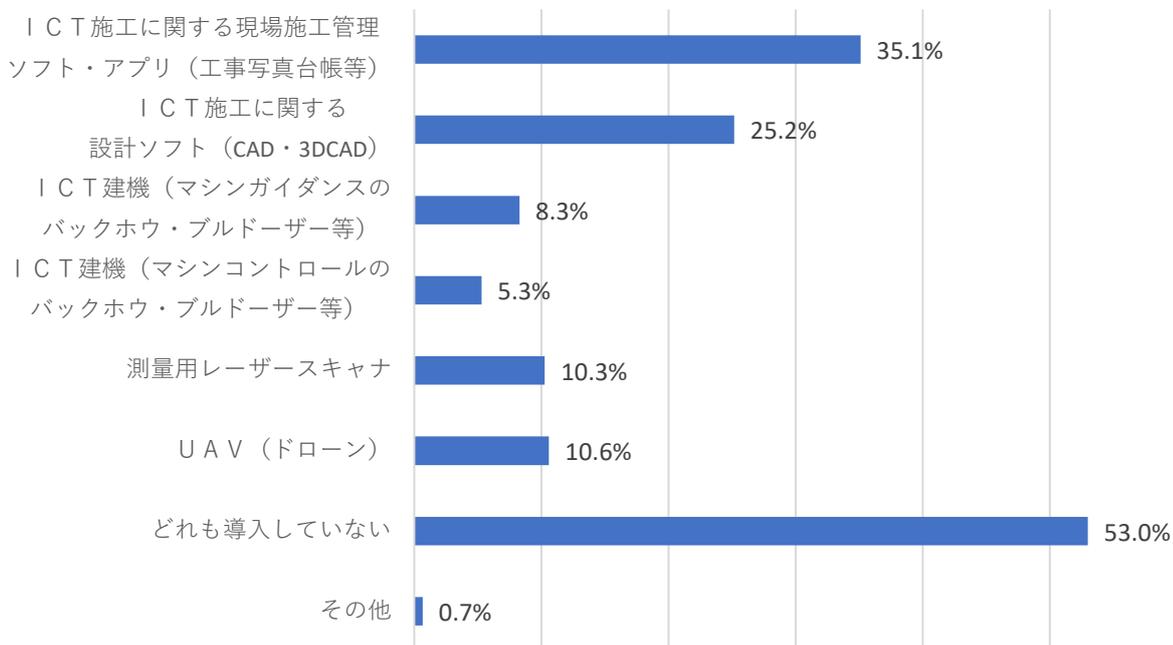
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	302	3	99.0%

区分	回答数	割合
ICT施工に関する現場施工管理ソフト・アプリ（工事写真台帳等）	106	35.1%
ICT施工に関する設計ソフト（CAD・3DCAD）	76	25.2%
ICT建機（マシンガイダンスのバックホウ・ブルドーザー等）	25	8.3%
ICT建機（マシンコントロールのバックホウ・ブルドーザー等）	16	5.3%
測量用レーザースキャナ	31	10.3%
UAV（ドローン）	32	10.6%
どれも導入していない	160	53.0%
その他	2	0.7%

●その他 記載

- ・自動追尾型TS
- ・自社開発している

ICT導入・活用状況について



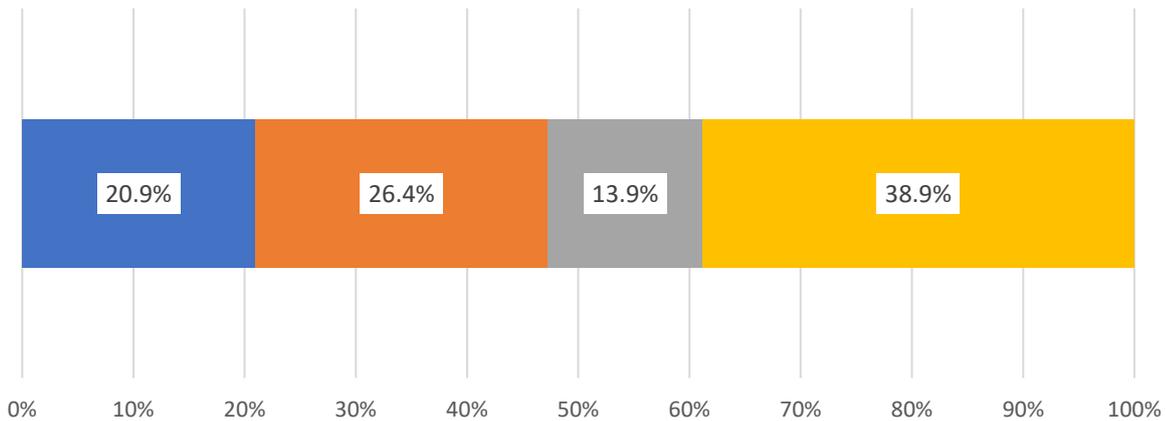
Q43 ICT活用による業務効率化、生産性向上への取組状況についてお教えてください。

ICT活用による業務効率化、生産性向上への取組状況

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	296	9	97.0%

区分	回答数	割合
既にICTの活用を進めており、 これからも積極的に進めていく予定である	62	20.9%
現在、ICTの活用は進んでいないが、 これからは積極的に導入していく予定である	78	26.4%
既にICTの活用を進めているが、 これからはあまり積極的に進める予定ではない	41	13.9%
現在、ICTの活用は進めておらず、 今後も導入は検討していない	115	38.9%

ICT活用による業務効率化、生産性向上への取組状況



■既にICTの活用を進めており、
これからも積極的に進めていく予定である

■現在、ICTの活用は進んでいないが、
これからは積極的に導入していく予定である

■既にICTの活用を進めているが、
これからはあまり積極的に進める予定ではない

■現在、ICTの活用は進めておらず、
今後も導入は検討していない

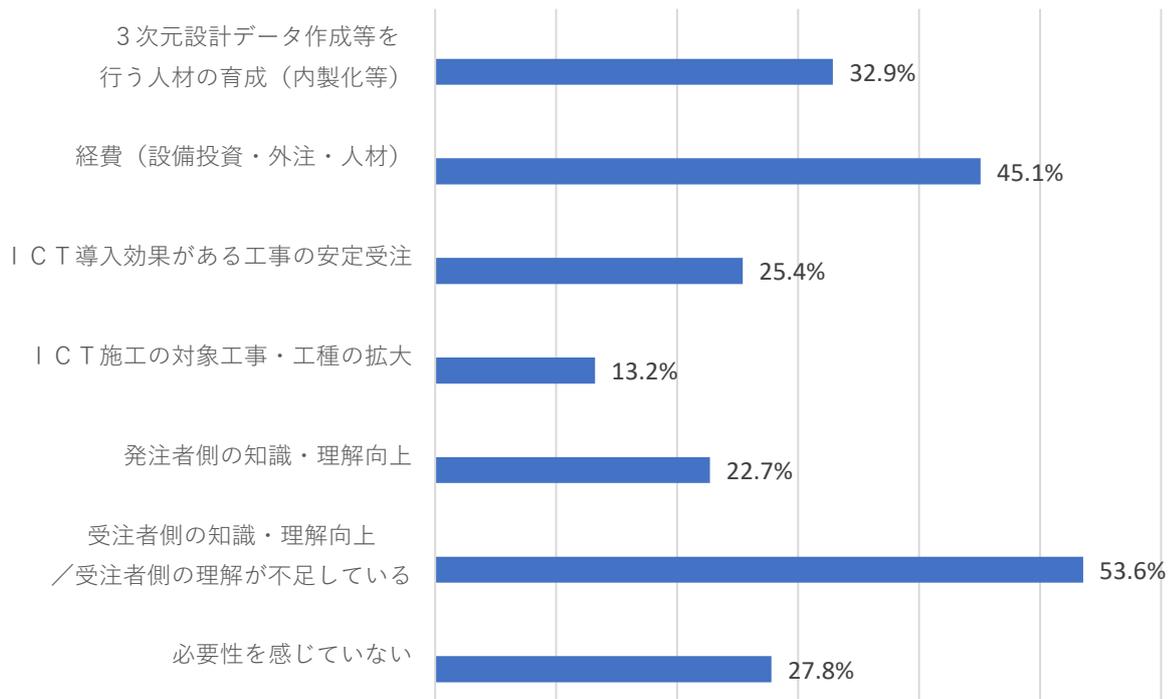
Q44 ICT活用を進めるため、貴社が必要と考えることをお教えてください。【複数回答】

ICT活用を進めるために必要と考えること

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	295	10	96.7%

区分	回答数	割合
3次元設計データ作成等を行う人材の育成（内製化等）	97	32.9%
経費（設備投資・外注・人材）	133	45.1%
ICT導入効果がある工事の安定受注	75	25.4%
ICT施工の対象工事・工種の拡大	39	13.2%
発注者側の知識・理解向上	67	22.7%
受注者側の知識・理解向上 ／受注者側の理解が不足している	158	53.6%
必要性を感じていない	82	27.8%
その他	-	0%

ICT活用を進めるために必要と考えること



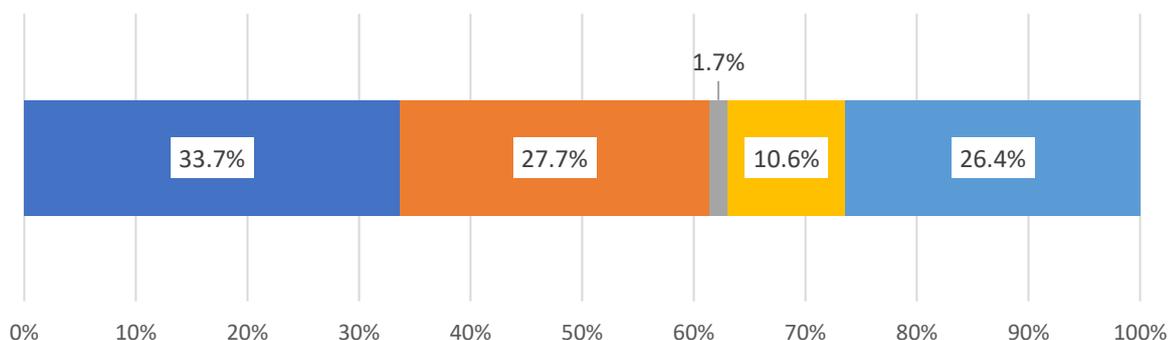
Q45 貴社の事業承継について、現時点での貴社の状況をお教えてください。

事業承継に関する見通し

総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	303	2	99.3%

区分	回答数	割合
事業承継は円滑に進む予定である (予定者を含め、後継者は決まっている)	102	33.7%
事業承継するつもりだが、 後継者は決まっていない	84	27.7%
他社に事業譲渡を行う予定 (合併・併合を含む)	5	1.7%
廃業する予定である	32	10.6%
未定である	80	26.4%

事業承継に関する見通し



- 事業承継は円滑に進む予定である
(予定者を含め、後継者は決まっている)
- 事業承継するつもりだが、
後継者は決まっていない
- 他社に事業譲渡を行う予定
(合併・併合を含む)
- 廃業する予定である
- 未定である

※Q45で「廃業する予定である」を選択した方

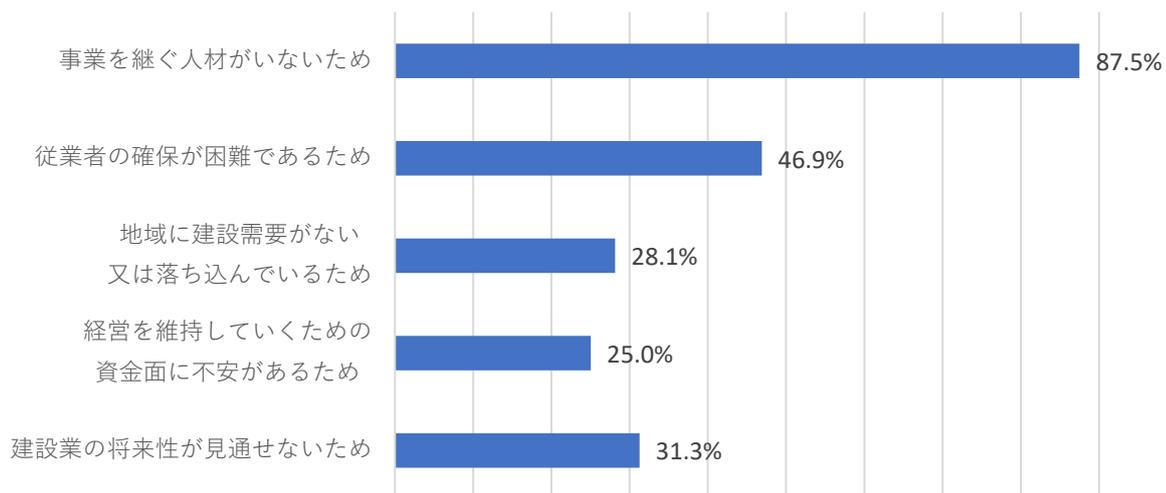
Q46 廃業する理由についてお教えてください。【複数回答】

事業承継せず廃業する理由

総回収数	有効回答数	回答率
32	32	100.0%

区分	回答数	割合
事業を継ぐ人材がないため	28	87.5%
従業者の確保が困難であるため	15	46.9%
地域に建設需要がない 又は落ち込んでいるため	9	28.1%
経営を維持していくための 資金面に不安があるため	8	25.0%
建設業の将来性が見通せないため	10	31.3%
その他	-	0%

事業承継せず廃業する理由



※Q45で「廃業する予定である」を選択した方

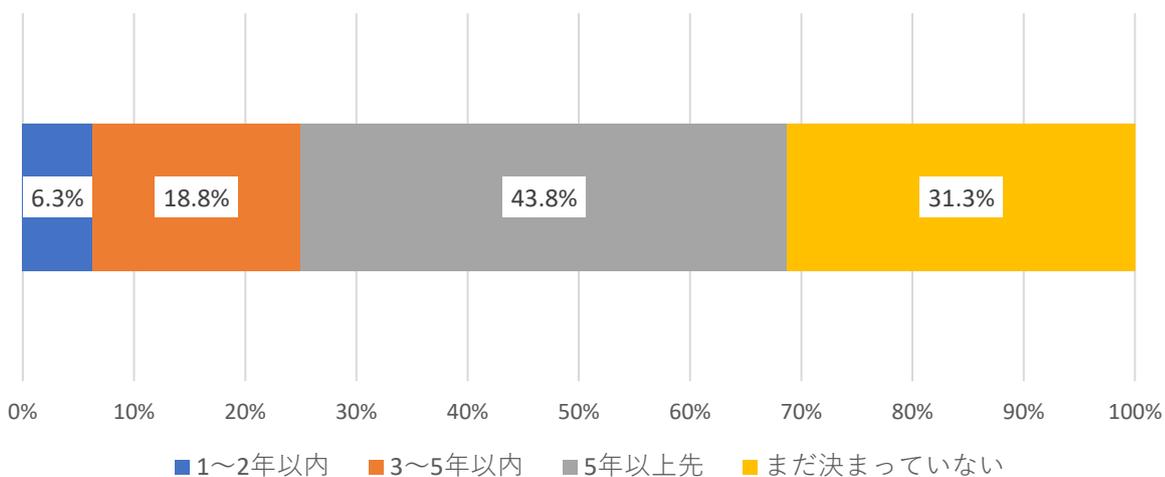
Q47 廃業の予定時期についてお教えてください。

廃業の予定時期

総回収数	有効回答数	回答率
32	32	100.0%

区分	回答数	割合
1～2年以内	2	6.3%
3～5年以内	6	18.8%
5年以上先	14	43.8%
まだ決まっていない	10	31.3%

廃業の予定時期



Q48 建設産業に対する行政の支援施策について、県に力を入れてもらいたい取組を教えてください。【複数回答】

建設産業に対する行政の支援策

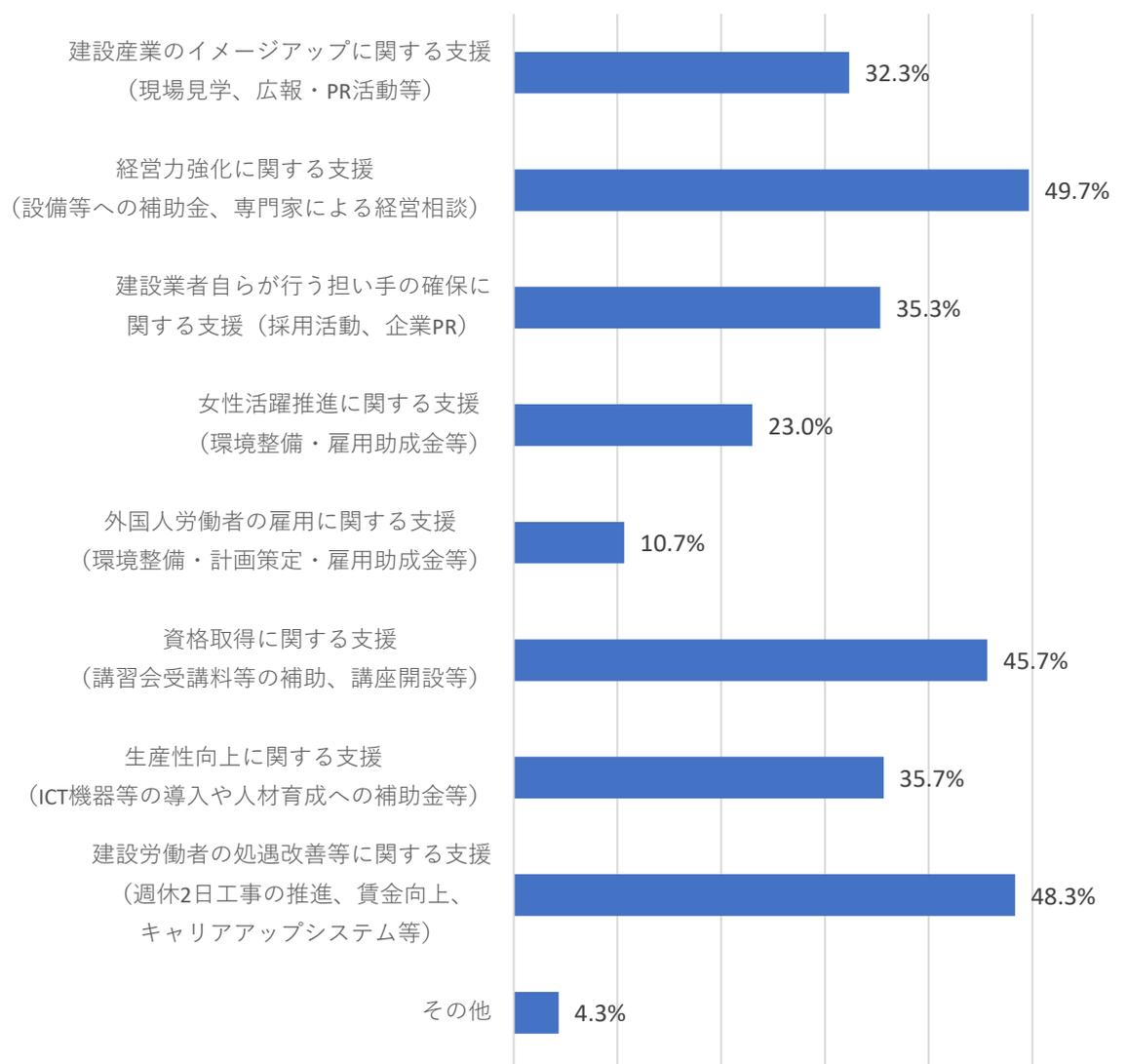
総回収数	有効回答数	無回答	回答率
305	300	5	98.4%

区分	回答数	割合
建設産業のイメージアップに関する支援 (現場見学、広報・PR活動等)	97	32.3%
経営力強化に関する支援 (設備等への補助金、専門家による経営相談)	149	49.7%
建設業者自らが行う担い手の確保に関する支援 (採用活動、企業PR)	106	35.3%
女性活躍推進に関する支援 (環境整備・雇用助成金等)	69	23.0%
外国人労働者の雇用に関する支援 (環境整備・計画策定・雇用助成金等)	32	10.7%
資格取得に関する支援 (講習会受講料等の補助、講座開設等)	137	45.7%
生産性向上に関する支援 (ICT機器等の導入や人材育成への補助金等)	107	35.7%
建設労働者の処遇改善等に関する支援 (週休2日工事の推進、賃金向上、 キャリアアップシステム等)	145	48.3%
その他	13	4.3%

●その他 記載

- ・公共事業予算の確保・拡充、
- ・適正な価格での発注（適正な予定価格の設定）
- ・入札参加機会の確保（適切な発注区分、分離分割発注など）
- ・工事の平準化の推進（債務負担行為の活用など）
- ・人材確保や育成への支援
- ・地元企業や中小企業の優先活用
- ・事務手続きの簡素化や迅速化
- ・設計変更の適切な実施
- ・新技術・新工法の導入支援
- ・資金繰り支援
- ・公務員の数を減らして民間に流れるようにしてほしい
- ・特に何も期待していない

建設産業に対する行政の支援策



徳島県の建設業の現状に関するアンケート調査 調査事項

I. 貴社の経営状況についてお教えてください

Q1 本社所在地をお教えてください。

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. 徳島市 | 2. 鳴門市 | 3. 小松島市 | 4. 阿南市 | 5. 吉野川市 | 6. 阿波市 |
| 7. 美馬市 | 8. 三好市 | 9. 勝浦町 | 10. 上勝町 | 11. 佐那河内村 | 12. 石井町 |
| 13. 神山町 | 14. 那賀町 | 15. 牟岐町 | 16. 美波町 | 17. 海陽町 | 18. 松茂町 |
| 19. 北島町 | 20. 藍住町 | 21. 板野町 | 22. 上板町 | 23. つるぎ町 | 24. 東みよし町 |

Q2-1 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位1位】のものをお教えてください。 例) 1位: 1. 土木一式工事

- | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|---------------|
| 1. 土木一式工事 | 2. 建築一式工事 | 3. 大工工事 | 4. 左官工事 | 5. とび・土工工事 |
| 6. 石工事 | 7. 屋根工事 | 8. 電気工事 | 9. 管工事 | 10. タイル工事 |
| 11. 鋼構造物工事 | 12. 鉄筋工事 | 13. 舗装工事 | 14. しゅんせつ工事 | 15. 板金工事 |
| 16. ガラス工事 | 17. 塗装工事 | 18. 防水工事 | 19. 内装仕上工事 | 20. 機械器具設置工事 |
| 21. 熱絶縁工事 | 22. 電気通信工事 | 23. 造園工事 | 24. さく井工事 | 25. 建具工事 |
| 26. 水道施設工事 | 27. 消防施設工事 | 28. 清掃施設工事 | 29. 解体工事 | 99. 建設業の売上がない |

Q2-2 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位2位】のものをお教えてください。 例) 2位: 5. とび・土工工事

- | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 土木一式工事 | 2. 建築一式工事 | 3. 大工工事 | 4. 左官工事 | 5. とび・土工工事 |
| 6. 石工事 | 7. 屋根工事 | 8. 電気工事 | 9. 管工事 | 10. タイル工事 |
| 11. 鋼構造物工事 | 12. 鉄筋工事 | 13. 舗装工事 | 14. しゅんせつ工事 | 15. 板金工事 |
| 16. ガラス工事 | 17. 塗装工事 | 18. 防水工事 | 19. 内装仕上工事 | 20. 機械器具設置工事 |
| 21. 熱絶縁工事 | 22. 電気通信工事 | 23. 造園工事 | 24. さく井工事 | 25. 建具工事 |
| 26. 水道施設工事 | 27. 消防施設工事 | 28. 清掃施設工事 | 29. 解体工事 | 99. 該当なし |

Q2-3 建設業許可をお持ちの業種で、直近決算における完成工事高のおおよその割合が【上位3位】のものをお教えてください。 例) 3位: 29. 解体工事

1. 土木一式工事	2. 建築一式工事	3. 大工工事	4. 左官工事	5. とび・土工工事
6. 石工事	7. 屋根工事	8. 電気工事	9. 管工事	10. タイル工事
11. 鋼構造物工事	12. 鉄筋工事	13. 舗装工事	14. しゅんせつ工事	15. 板金工事
16. ガラス工事	17. 塗装工事	18. 防水工事	19. 内装仕上工事	20. 機械器具設置工事
21. 熱絶縁工事	22. 電気通信工事	23. 造園工事	24. さく井工事	25. 建具工事
26. 水道施設工事	27. 消防施設工事	28. 清掃施設工事	29. 解体工事	99. 該当なし

Q2-4 上記 Q2-1~Q2-3 で選択した、上位3位までの各業種の完成工事高に占めるおおよその割合をお教えてください。

【半角数字でご記入ください。該当がない場合は「0」とご記入ください。】

- 例) 1位(1. 土木一式工事) : 50(%)
 2位(5. とび・土工工事) : 30(%)
 3位(29. 解体工事) : 20(%)

1位 (Q2-1 で選択した業種)	2位 (Q2-2 で選択した業種)	3位 (Q2-3 で選択した業種)
(%)	(%)	(%)

Q3 貴社の資本金額をお教えてください。

【資本金額をご記入ください。個人事業主の方はご記入不要です】

() 千円

Q4 貴社の直前決算期の完成工事高をお教えてください。 【完成工事高をご記入ください】

() 千円

Q5 貴社の完成工事高に占める、おおよその公共工事の割合をお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 80%以上 | 2. 60~80%未満 |
| 3. 40~60%未満 | 4. 20~40%未満 |
| 5. 20%未満 | |

Q6 貴社全体の売り上げ（兼業売上高含む）に占める完成工事高の割合をお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 100%（兼業なし） | 2. 80%～100%未満 |
| 3. 60～80%未満 | 4. 40～60%未満 |
| 5. 20～40%未満 | 6. 20%未満 |

Q7 貴社の請負工事について主な受注形式をお教えてください。 【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 主に元請（全業務の6割以上） | 2. 元請と下請は同じ程度（それぞれ4～6割） |
| 3. 主に下請（全業務の6割以上） | |

Q8 貴社の従業員数をお教えてください。 【該当する人数をご記入ください】

(A) 常用雇用従業者数	(人)
上記のうち建設業従事者数	(人)
(B) その他の従業者数	(人)
上記のうち建設業従事者数	(人)
合計 (A) + (B)	(人)

II. 貴社の経営状況について教えてください

Q9 貴社の建設業に関する業績は平成 30 年頃と比較して、どのような状況ですか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 業績は大きく上向いている | 2. 業績は少しずつ上向いている |
| 3. 業績はほとんど変わらない | 4. 業績は少しずつ下降している |
| 5. 業績はかなり下降している | |

Q10 貴社の建設業に関する従業者数（常用雇用従業者のうち建設業に従事する人）は平成 30 年頃と比較して、どのような状況ですか。 【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 従業者数は増加している | 2. 従業者数はほとんど変わらない |
| 3. 従業者数は減少している | |

Q11 貴社の建設業に関する業績について今後の見通しをお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 業績は大きく上向く | 2. 業績は徐々に上向く |
| 3. 業績はほとんど変わらない | 4. 業績は徐々に下降する |
| 5. 業績はかなり下降する | 6. わからない（見通しが立たない） |

Q12 貴社の現在の経営上の課題について当てはまるものをお選びください。

【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 既存受注（既存顧客）の維持 | 2. 新規受注（新規顧客）の開拓 |
| 3. 受注単価の改善 | 4. 従業者の雇用維持 |
| 5. 従業者の技術力の維持・向上 | 6. 若年労働者の確保・育成 |
| 7. 後継者への事業承継 | 8. 資金繰り・借入金の増大 |
| 9. ICT 施工等の情報通信技術の活用（生産性向上への対応） | |
| 10. 処遇改善・働き方改革への対応 | 11. 異業種や新分野への進出などの経営の多角化 |
| 12. その他 | |
- ）

III. 人材確保・担い手対策の状況についてお教えてください

Q13 貴社で雇用している技術者（国家資格者等）は足りていると感じていますか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 足りている | 2. どちらかというと足りている |
| 3. どちらかというと不足している | 4. かなり不足している |

Q14 貴社で雇用している技能労働者（作業員、重機オペレーター等）は足りていると感じていますか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 足りている | 2. どちらかというと足りている |
| 3. どちらかというと不足している | 4. かなり不足している |
| 5. 雇用していない | |

Q15 不足していると感じている技能労働者の職種は何ですか。

【特に不足していると感じる職種を2つまで選択】

※Q14で「どちらかというと不足している」「かなり不足している」を選択した方

- | | | | |
|-------------|--------|--------|----------|
| 1. 型枠工 | 2. 左官 | 3. とび工 | 4. 鉄筋工 |
| 5. 電工 | 6. 配管工 | 7. 塗装工 | 8. 普通作業員 |
| 9. 重機オペレーター | | | |
| 10. その他 | 〔 | | |

Q16 貴社ではこの5年間に技術者または技能労働者を新たに採用しましたか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 採用した | 2. 採用活動はしたが、採用できていない |
| 3. 採用活動はしておらず、採用もしていない | |

Q17 この5年間の新たな雇用について、どのような方を採用しましたか。

【当てはまるものをすべて選択】 ※Q16で「採用した」を選択した方

- | | | |
|-------------------|-------------------|--|
| 1. 高卒者（工業系学科） | 2. 高卒者（普通科・商業科等） | |
| 3. 高等専門学校卒（高専） | 4. 大学卒（土木系または建築系） | |
| 5. 大学卒（土木系や建築系以外） | 6. 社会人（建設業経験者） | |
| 7. 社会人（建設業未経験者） | 8. 外国人技能実習生 | |
| 9. その他 | 〔 | |

Q18 この5年間に採用した技術者・技能労働者で、離職した方はいらっしゃいましたか（定年退職は除きます）。【当てはまるものを選択】 ※Q16で「採用した」を選択した方

1. 離職者あり
2. 離職者なし

Q19 離職した方について、離職の理由をお教えてください。

【当てはまるものを2つまで選択】 ※Q18で「離職者あり」を選択した方

1. 賃金の問題
2. 労働時間の問題
3. 仕事内容の問題
4. 人間関係の問題
5. 福利厚生の問題
6. 家庭の問題
7. 他社からの引き抜き
8. わからない
9. その他（

Q20 現在、採用活動を行っていない理由は何ですか。【当てはまるものを1つ選択】

※Q16で「採用活動はしておらず、採用もしていない」を選択した方

1. 人数が足りている
2. 雇用したいが経営状況的に厳しい
3. 求人しても応募が見込めないため
4. 採用活動に手が回らないため
5. その他（

Q21 技術者や技能労働者の人材確保について、今後貴社ではどのような人材を優先的に採用したいとお考えですか。【当てはまるものをすべて選択】

1. 高校・大学等の新卒者
2. 社会人経験者（建設業界経験者）
3. 社会人経験者（建設業界の経験問わず）
4. 女性技術者・女性技能労働者
5. 外国人
6. 高齢者（建設業界経験者）
7. 特にこだわりはない
8. 今後、採用する予定はない
9. その他（

Q22 貴社において担い手を確保するため、重要と考えていることは何ですか。

【特に重要とお考えのものを3つまで選択】

1. 給与・賃金
2. 休日・労働時間等
3. 福利・厚生
4. 企業情報の発信（採用活動・インターンの受入等）
5. 仕事のやりがい
6. 入職後の人材育成（資格取得支援等）
7. 業界のイメージ向上
8. その他（

Q23 担い手を確保するために貴社が行っている取組み（情報発信）についてお教えてください。

【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. ハローワーク | 2. 求人情報サイト・求人情報誌 |
| 3. 新聞・テレビ・ラジオ | 4. オンライン媒体（自社 HP・SNS 等） |
| 5. オフライン媒体（採用パンフレット等） | 6. 学校訪問 |
| 7. 企業説明会 | 8. 自社イベントの開催 |
| 9. インターンシップ・職場体験等の受入れ | 10. 特に行っていない |
| 11. その他（ | ） |

Q24 貴社では、女性技術者や女性技能労働者の雇用を検討していますか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 検討している | 2. 女性を含め男女問わず雇用を検討している |
| 3. 検討していない | |

Q25 貴社がお考えの建設業における女性の活躍を推進する上での課題をお教えてください。

【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 体力が必要なため、できる仕事に限られる | 2. 代替要員の確保が困難・離職率が高い |
| 3. 職場環境整備にコストがかかる | 4. 残業等させにくい |
| 5. 入職を希望している者が少ない | 6. 考えたことがない |
| 7. その他（ | ） |

Q26 貴社では、外国人労働者の受入れを検討していますか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1. 検討している | 2. 外国人を含め国籍を問わず雇用を検討している |
| 3. 検討していない | |

Q27 外国人労働者の雇用を検討していない理由をお教えてください。

【当てはまるものを2つまで選択】 ※Q26で「検討していない」を選択した方

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 日本人で人材を確保できる | 2. 言語等のコミュニケーションに懸念がある |
| 3. 採用の仕方が分からない | 4. 費用対効果が合わない |
| 5. 研修・教育に時間が掛かる | 6. 社内体制を整備・維持していくのが困難 |
| 7. 行政手続きが煩雑 | 8. 在留期間に制限がある |
| 9. その他（ | ） |

Q28 貴社において、技術者や技能労働者を育成するために取組みを行っていますか。

【当てはまるものを選択】

1. 行っている
2. 行っていない

Q29 貴社において行っている取組みをお教えてください。

【当てはまるものをすべて選択】 ※Q28で「行っている」を選択した方

1. OJT（業務を通じた教育）
2. OFF-JT（業務以外での教育）
3. 社内での講習・研修会
4. 業界団体が行う講習会等への参加支援
5. 職業訓練施設等への派遣
6. 資格取得費用に対する支援
7. 資格取得者等への賃金アップ・手当支給
8. その他（）

建設キャリアアップシステム

- ・ 建設キャリアアップシステムは、技能者ひとり一人の就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場作業の効率化などにつなげるシステムです。
- ・ 事業者にとっては、技能者の労務管理、現場の入場管理の効率化というメリットが、技能労働者にとっては、資格や就業履歴を証明し、適正な評価と処遇が受けられるメリットがあります。また、建退共とのデータ連携により事務の効率化が進むことも予定されています。

Q30 建設キャリアアップシステム（CCUS）の事業者・技能労働者等の登録状況をお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

1. 事業者のみ登録している（技能労働者等は雇用していない）
2. 事業者として登録しているが、雇用している技能労働者等は登録していない
3. 事業者と技能労働者等のいずれも登録している
4. いずれも登録していないが、今後登録する予定
5. 登録する予定はない

Q31 登録をしない理由をお教えてください。

【当てはまるものをすべて選択】 ※Q30で「登録する予定はない」を選択した方

1. システムをよく理解していない
2. 導入のメリットがないと感じている
3. 登録料や利用料等の費用が掛かる
4. カードリーダーの設置等、管理が面倒である
5. 登録手続きが煩雑・手間である
6. 技能労働者の引き抜きが懸念される
7. その他（）

IV. 従業員の就業環境についてお教えてください

Q32 貴社の所定労働時間をお教えてください。 【1週間の所定労働時間をご記入ください】

週 () 時間

Q33 貴社にお勤めの技術者（国家資格者等）の1か月当たりの平均残業時間はどの程度でしょうか。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 45時間未満 | 2. 45～60時間未満 |
| 3. 60～80時間未満 | 4. 80～100時間未満 |
| 5. 100時間以上 | |

Q34 貴社にお勤めの技能労働者（作業員、重機オペレーター等）の1か月当たりの平均残業時間はどの程度でしょうか。 【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 45時間未満 | 2. 45～60時間未満 |
| 3. 60～80時間未満 | 4. 80～100時間未満 |
| 5. 100時間以上 | |

Q35 貴社にお勤めの技術者（国家資格者等で常用雇用者）について、主な賃金支払い形態はどのようなものでしょうか。 【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|--------|--------------------------|
| 1. 月給制 | 2. 月給制だが出勤日数により精算（日給月給制） |
| 3. 日給制 | 4. 出来高制 |
| 5. その他 | （ ） |

Q36 貴社にお勤めの技能労働者（作業員、重機オペレーター等で常用雇用者）について、主な賃金支払い形態はどのようなものでしょうか。 【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|--------|--------------------------|
| 1. 月給制 | 2. 月給制だが出勤日数により精算（日給月給制） |
| 3. 日給制 | 4. 出来高制 |
| 5. その他 | （ ） |

Q37 貴社の技術者・技能労働者への給与について、この5年間の昇給の状況を教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 定期的にベースアップしている | 2. 不定期だがベースアップしている |
| 3. 年齢や勤続年数により給与が決まっている | 4. 降給している |
| 5. 特に変化はない | |

Q38 貴社の技術者・技能労働者の方々のおおよその週休2日の実施状況について、当てはまるものを選んでください。【当てはまるものを1つ選択】

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 4週8休 | 2. 4週7休 |
| 3. 4週6休 | 4. 4週5休 |
| 5. 4週4休以下 | 6. 完全週休2日制 |
| 7. その他 | () |

Q39 貴社がお考えの週休2日達成の妨げの要因について、お教えてください。【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 天候に左右されるため | 2. 下請等、関係会社が多く調整が困難 |
| 3. 繁忙期・閑散期で労働需要に差があるため | 4. 発注者が指定する工期が短いため |
| 5. 月給制でないため | |
| 6. その他 | () |

Q40 処遇の改善や働き方改革を実施していくうえで、貴社が必要とお考えの条件についてお教えてください。【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 発注者（または元請）による適切な工期（余裕のある工期）の設定 | |
| 2. 発注者（または元請）による適切な経費の反映 | |
| 3. 施工時期の平準化 | |
| 4. 発注者への提出書類の簡素化・削減 | |
| 5. 設計から施工における ICT の導入（現場施工の効率化） | |
| 6. 特にない | |
| 7. その他 | () |

Q41 労働時間上限規制への対応に向けた残業時間削減への取組についてお教えてください。【当てはまるものをすべて選択】

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1.現場作業状況に応じて休憩時間の増や勤務時間の減など柔軟に調整している | |
| 2.自宅から現場への直行・直帰を指示している | |
| 3.1か月単位または1年単位の変形労働時間制を採用している | |
| 4.現場の状況に応じて人員を多く配置する等の工夫をしている | |
| 5.現場管理ソフト等の ICT を活用することで業務の効率化を進めている | |
| 6.バックオフィス（事務職員等）を活用し、現場事務の分業化を進めている | |
| 7.特に対応をしていない | |
| 8.その他 | () |

V. 生産性向上（ICT活用等）についてお教えてください

県では生産性向上を図るため、令和7年度からICT活用工事（土工）の「発注者指定型」の対象を拡大するとともに、擁壁工、舗装工（修繕工）を「受注者希望型」の対象に追加しております。

また、令和8年度からはICT活用工事の内製化に取り組む、「内製化チャレンジ型」を新設する予定となっております。

Q42 貴社のICT導入・活用状況をお教えてください。【当てはまるものをすべて選択】

1. ICT施工に関する現場施工管理ソフト・アプリ（工事写真台帳等）
2. ICT施工に関する設計ソフト（CAD・3DCAD）
3. ICT建機（マシンガイダンスのバックホウ・ブルドーザー等）
4. ICT建機（マシンコントロールのバックホウ・ブルドーザー等）
5. 測量用レーザースキャナ
6. UAV（ドローン）
7. どれも導入していない
8. その他（）

Q43 ICT活用による業務効率化、生産性向上への取組状況についてお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

1. 既にICTの活用を進めており、これからも積極的に進めていく予定である
2. 現在、ICTの活用は進んでいないが、これからは積極的に導入していく予定である
3. 既にICTの活用を進めているが、これからはあまり積極的に進める予定ではない
4. 現在、ICTの活用は進めておらず、今後も導入は検討していない

Q44 ICT活用を進めるため、貴社が必要と考えることをお教えてください。

【当てはまるものをすべて選択】

1. 3次元設計データ作成等を行う人材の育成（内製化等）
2. 経費（設備投資・人材）の確保
3. ICT導入効果がある工事の安定受注
4. ICT施工の対象工事・工種の拡大
5. 発注者側の知識・理解向上
6. 受注者側の知識・理解向上
7. 必要性を感じていない
8. その他（）

VI. 貴社の事業承継についてお考えをお聞かせください

Q45 貴社の事業承継について、現時点での貴社の状況をお教えてください。

【当てはまるものを1つ選択】

1. 事業承継は円滑に進む予定である（予定者を含め、後継者は決まっている）
2. 事業承継するつもりだが、後継者は決まっていない
3. 他社に事業譲渡を行う予定（合併・併合を含む）
4. 廃業する予定である
5. 未定である

Q46 廃業する理由についてお教えてください。【当てはまるものをすべて選択】

※Q45で「廃業する予定である」を選択した方

1. 事業を継ぐ人材がないため
2. 従業員の確保が困難であるため
3. 地域に建設需要がない又は落ち込んでいるため
4. 経営を維持していくための資金面に不安があるため
5. 建設業の将来性が見通せないため
6. その他

（

）

Q47 廃業の予定時期についてお教えてください。【当てはまるものを1つ選択】

※Q45で「廃業する予定である」を選択した方

1. 1～2年以内
2. 3～5年以内
3. 5年以上先
4. まだ決まっていない

VII. 今後の県の取組についてお考えをお聞かせください

Q48 最後の質問となります。建設産業に対する行政の支援施策について、県に力を入れてもらいたい取組を教えてください。【特に希望するものを3つまで選択】

1. 建設産業のイメージアップに関する支援（現場見学、広報・PR活動等）
2. 経営力強化に関する支援（設備等への補助金、専門家による経営相談）
3. 建設業者自らが行う担い手の確保に関する支援（採用活動、企業PR）
4. 女性活躍推進に関する支援（環境整備・雇用助成金等）
5. 外国人労働者の雇用に関する支援（環境整備・計画策定・雇用助成金等）
6. 資格取得に関する支援（講習会受講料等の補助、講座開設等）
7. 生産性向上に関する支援（ICT機器等の導入や人材育成への補助金等）
8. 建設労働者の処遇改善等に関する支援（週休2日工事の推進、賃金向上、キャリアアップシステム等）

9. その他

（

）